住吉神社遺跡 3

－住吉神社遺跡第 4 次調査報告－

福岡市埋蔵文化財調査報告書 1363 集

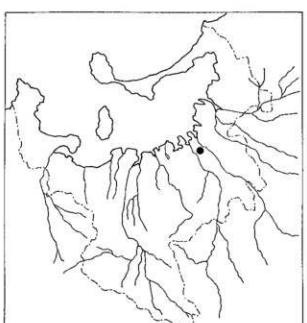
2019

福岡市教育委員会

住吉神社遺跡 3

－住吉神社遺跡第４次調査報告－

福岡市埋蔵文化財調査報告書1363集



遺跡略号　SYJ－4
調査番号　1533

2019

福岡市教育委員会

序

玄界灘に面し古くから大陸との文化交流の玄関口であった福岡市には、豊かな自然と文化が残されています。その中でも博多区は大陸との交流で古くから栄え、遺跡も多く存在しています。これらを保護し、未来へと伝えていくのは本市に課せられた責務です。

しかし、近年の著しい都市化による市街地の拡大により、その一部が急速に失われつつあることもまた事実です。福岡市教育委員会は開発によってやむを得ず失われていく遺跡について、事前の発掘調査を行い、記録の保存に努めています。

今回報告する住吉神社遺跡の発掘調査報告書は共同住宅建設に伴う調査成果についての記録です。この調査では古代末から中世にかけての道路と集落を確認しました。本書が文化財保護への理解と認識を深める一助となり、また研究資料として御活用頂ければ幸いに存じます。

最後に発掘調査から報告書の刊行に至るまで、有限会社スカイロード壱岐様をはじめとして多くの方々のご理解とご協力を賜りましたことに対して心から謝意を表する次第であります。

平成31年3月25日

福岡市教育委員会
教育長　星子明夫

例　言

□本報告書は博多区住吉2丁目302番3、310番2の共同住宅建設工事に伴って2015年12月21日から2016年3月12日にかけて発掘調査を行った住吉神社遺跡第4次調査の報告書である。
□本書に収録した発掘調査は福岡市経済観光文化局の屋山洋が担当した。
□遺構実測・写真撮影はは屋山が、遺物実測と製図等を平川敬二と屋山が担当した。
□本書で用いた方位は磁北である。
□本書に関わる図面・写真・遺物など一切の資料は福岡市立埋蔵文化財センターに収蔵・保管される予定である。

遺跡調査番号	1533	遺跡番号	2820	分布地図番号	天神　49
調査地地番	福岡市博多区住吉2丁目302番3、310番2				
開発面積	511.49㎡	調査面積	333㎡	調査原因	共同住宅建設
調査期間	20151221～20160312		担当者		屋山　洋

目次

本文

Ⅰ　はじめに …… 1
Ⅱ　調査の記録 …… 3
1. 調査の経過 …… 3
2. 調査の概要 …… 3
3. 遺構と遺物 …… 4
1）井戸 …… 4
2）柵・塀 …… 28
3）掘立柱建物 …… 28
4）土坑 …… 28
5）溝 …… 40
6）その他の遺物 …… 41
7）動物遺存体 …… 41
4. 小結 …… 41

挿図

第 1 図　周辺遺跡分布図 …… 2
第 2 図　調査地点位置図 …… 2
第 3 図　調査範囲図 …… 3
第 4 図　調査区全体図 …… 5
第 5 図　SE0075・SE0222（0223）遺構・遺物実測図（1/40・1/3） …… 7
第 6 図　SE0223 遺物実測図（1/3） …… 8
第 7 図　SE0233・SE0449 遺構・遺物実測図（1/40・1/3） …… 9
第 8 図　SE0236・SE0247 遺構実測図（1/40） …… 10
第 9 図　SE0236・SE0247 遺物実測図（1/3） …… 11
第 10 図　SE0248 遺構・遺物実測図（1/60・1/3） …… 12
第 11 図　SE0368・SE0379 遺構・遺物実測図（1/30・1/3） …… 13
第 12 図　SE0379 遺物実測図（1/3） …… 14
第 13 図　SE0402 遺構・遺物実測図（1/60・1/3） …… 15
第 14 図　SE0451・SE0408（0409）遺構・遺物実測図（1/20・1/40・1/3） …… 16
第 15 図　SE0451 遺物実測図（1/3） …… 17
第 16 図　SX01 遺構実測図（1/40） …… 18
第 17 図　SX02・SX03（SD0245）遺構実測図（1/60・1/40） …… 19
第 18 図　SA01 遺構実測図（1/60） …… 21
第 19 図　SB01 遺構実測図（1/60） …… 22
第 20 図　SB02 遺構実測図（1/40） …… 23
第 21 図　SB03 遺構実測図（1/40） …… 24
第 22 図　土坑実測図 1（1/20・1/40） …… 25
第 23 図　土坑実測図 2（1/15） …… 26
第 24 図　土坑遺物実測図 1（1/3） …… 27
第 25 図　土坑実測図 3（1/40・1/60・1/3） …… 29
第 26 図　土坑遺物実測図 2（1/3） …… 30
第 27 図　溝等遺構実測図（1/40） …… 31
第 28 図　溝出土遺物実測図 1（1/3） …… 32
第 29 図　溝出土遺物実測図 2（1/3） …… 33
第 30 図　溝出土遺物実測図 3（1/3） …… 34
第 31 図　その他の遺物実測図 1（1/3） …… 35
第 32 図　その他の遺物実測図 2（1/3） …… 36
第 33 図　その他の遺物実測図 3（1/3） …… 37
第 34 図　調査区全体図（1/200） …… 39
第 35 図　近代地図 …… 40

表

表1　遺構台帳1 …… 42
表2　遺構台帳2 …… 43
表3　遺構台帳3 …… 44
表4　遺構台帳4 …… 45
表5　遺構台帳5 …… 46
表6　遺構台帳6 …… 47
表7　遺構台帳7 …… 48
表8　遺構台帳8 …… 49
表9　遺構台帳9 …… 50
表10　遺構台帳10 …… 51
表11　遺構台帳11 …… 52

図版

図版1 …… 53
1．Ⅰ区全景　2．Ⅱ区全景

図版2 …… 54
1．SE0075　2．SE0217　3．SE0222　4．SE0233・SE0449
5．SE0233 土層　6．SE0236 土層 7．SE0247　8．SE0247 土層

図版3 …… 55
1．SE0248　2．SE0248 遺物出土状況　3．SE0368 井筒　4．SE0368 井筒
5．SE0368 カメ甲羅出土状況　6．SE0368 井筒箍　7．SE0368 井筒箍　8．SE0379

図版4 …… 56
1．SE0402　2．SE0408・SE0409　3．SE0408 井筒　4．SE0408 半裁状況
5．SE0409　6．SE0451　7．SK0081　8．SK0180

図版5 …… 57
1．SK0244　2．SK0244 土層　3．SK0254　4．SK0264　5．SK0404　6．SK0407
7．SK0407 土層　8．SK0429

図版6 …… 58
1．SK0028　2．SK0076　3．SP0097 根石　4．SP0098 根石　5．SP0108 根石
6．SK0134　7．SK0137　8．SK0224

図版7 …… 59
1．SP0227 根石　2．SK0229　3．SK0306　4．SP0103 根石　5．Ⅰ区北西端根石出土状況

図版8 …… 60
1．SD0245　2．SD0245 土層　3．SD0396・0397・0401　4．SD0237・0276・0433・0434
5．SB01　6．SB02 南側柱列　7．SK0164 検出状況

図版9 …… 61
1．SD0146 遺物出土状況　2．SD0146 西端遺物出土状況　3．SD0146 中央部遺物出土状況
4．SD0146 中央部木質出土状況　5．SD0110 土層

図版10 …… 62
1．SD0146・0218・0219 土層　2．SD0203 土層　3．SD0378　4．SD0391・0378
5．SD0391 木質出土状況

Ⅰ．はじめに

1．調査に至る経過

平成27年(2015年)6月6日付けで(株)A-UNから福岡市教育委員会に博多区住吉二丁目302番3、310番2の共同住宅建設に伴う埋蔵文化財の有無についての照会書(27-2-274)が提出された。

申請地は周知の埋蔵文化財包蔵地である住吉神社遺跡内に位置していることから埋蔵文化財審査課事前審査係が7月12日に確認調査を行ったところ、現地表面から130㎝下で古代末から中世の遺構を確認した。そのため工事に先立って埋蔵文化財の発掘調査を行い、記録保存を図ることが必要であると判断して協議を行い、その結果平成28(2016)年12月21日から3月12日の期間で発掘調査を行った。

調査期間中は休憩所や水道の設置など原因者及び関係者各位の多大なご協力を頂いた。記して感謝したい。

2．調査の組織

調査委託　有限会社スカイロード壱岐

調査主体　福岡市教育委員会(発掘調査　平成27年度　：整理報告　平成30年度)

調査統括　文化財活用部(調査時　文化財部)埋蔵文化財調査課長

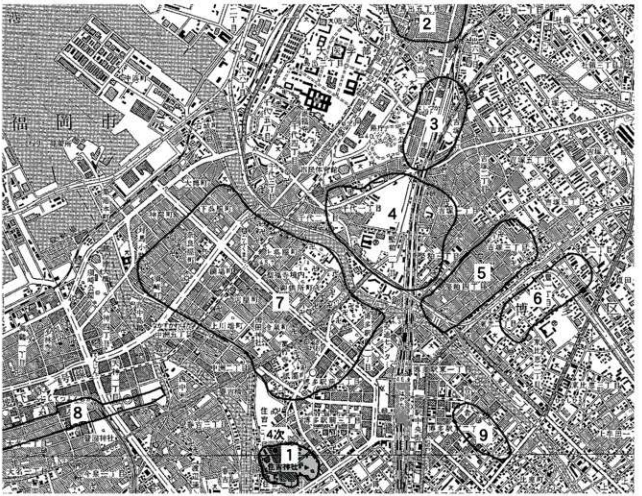
		平成27年度	常松幹雄
		平成30年度	大庭康時
	同課第1係長	平成27・30年度	吉武　学
庶務	埋蔵文化財審査課管理係	平成27年度	松原加奈枝
	文化財活用課管理調整係	平成30年度	松尾智仁
調査担当	埋蔵文化財課		屋山　洋

3．位置と環境

住吉神社遺跡は筑前國一宮である住吉神社境内とその　側の東西　m、南北　mの範囲に広がり、住吉神社境内の　次調査では砂丘の砂を基板とし、那珂川に近い西北の3次と今回の4次調査では水性堆積のシルト層を盤とする。また住吉神社周辺でこれまで行われたトレンチによる試掘調査にでも水性堆積の粗砂が確認されているが、これは住吉神社に伝わる『博多古図』に神社の立地が博多湾の最奥部と那珂川河口の境界部に浮かぶ島として描かれているのに合致するものである。

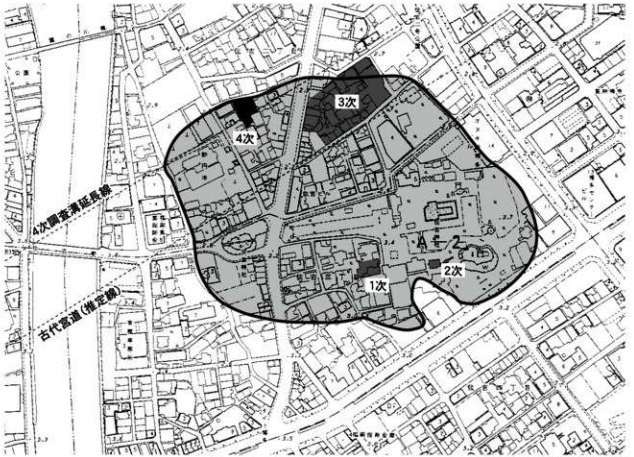
古図では那珂川と御笠川の合流地点に神社が描かれており、河川を行き来する交通の要所であったと推定される。

今回報告する4次調査は住吉神社の北西　mに位置する。現状は宅地となっており標高2.5mを測り、北側に緩やかに傾斜する。確認調査の結果、現地表面から約1.3m下の黄白色シルト層(標高1.2m)上面で遺構が確認された。

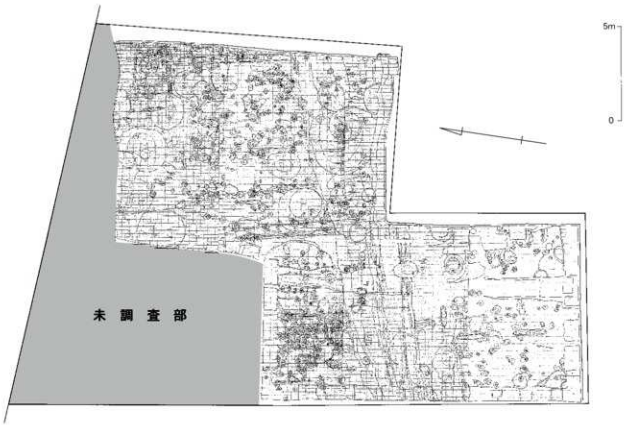


1．住吉神社遺跡
2．箱崎遺跡
3．吉塚本町遺跡
4．堅粕遺跡
5．吉塚遺跡
6．豊遺跡
7．博多遺跡群
8．肥前堀
9．駅東生産遺跡

第１図　周辺遺跡分布図



第２図　調査地点位置図（1/4000）



第３図　調査範囲図（1/200）

Ⅱ．調査の記録

１．調査の経過

今回の調査地点である博多区住吉２丁目 302 番３、310 番２の敷地面積は 511.49㎡を測る。敷地は南北にやや長い長方形で北側が道路に面しているが、道路に面する部分は駐車場として利用して深い掘り込みを伴わないことから調査対象地外とし、調査対象地は 287.25㎡とすることで合意した。調査開始に当たり実際に矢板で囲まれた面積は 333㎡で、その範囲の調査を行った。

発掘調査は廃土処理のため調査区を東西に分け、Ⅰ区から調査を開始することとし、まず 12 月 16 日から 21 日まで原因者側で重機による掘り下げと土の搬出、ユニットハウスや水道等の工事をおこなった。12 月 21 日に発掘機材を搬入してⅠ区の発掘調査を開始し、２月１日の午前中にⅠ区の調査を終えて午後からⅡ区の調査を始め、３月３日に全景写真を撮影した後、遺物の取り上げなどを行い、３月 12 日に撤収を行い調査を終了した。本調査地点の現況は標高 2.5 m前後を測るが、現地表面から 80㎝は近世後半以降の盛土である。事前のトレンチ調査によると GL － 80㎝から 130㎝は暗黄灰色粘質土で下層の 10㎝は遺物を多く含むが遺構を確認できず、今回は GL-130㎝（標高 1.2 m）の黄褐色シルト上面まで掘り下げた。この黄褐色シルト層は那珂川の堆積によるもので、その下も粗砂、細砂、シルトなど河川堆積によるものである。

２．調査の概要

遺構面は河川堆積によるシルト質でほぼ水平である。近世以降の盛土のため、近代以降の建物基礎による攪乱は少ない。遺構はほとんどが古代末から中世に属するものである。遺構は調査区中央で東

西方向の溝を確認した。溝は 12 世紀から近世にかけて何度も掘り直されている。溝から北側は遺構密度が濃く井戸、土坑、塀、道路側溝、掘立柱建物などを確認した。

3．遺構と遺物 （出土遺物の詳細は P43 ～ 52 の表に記載）

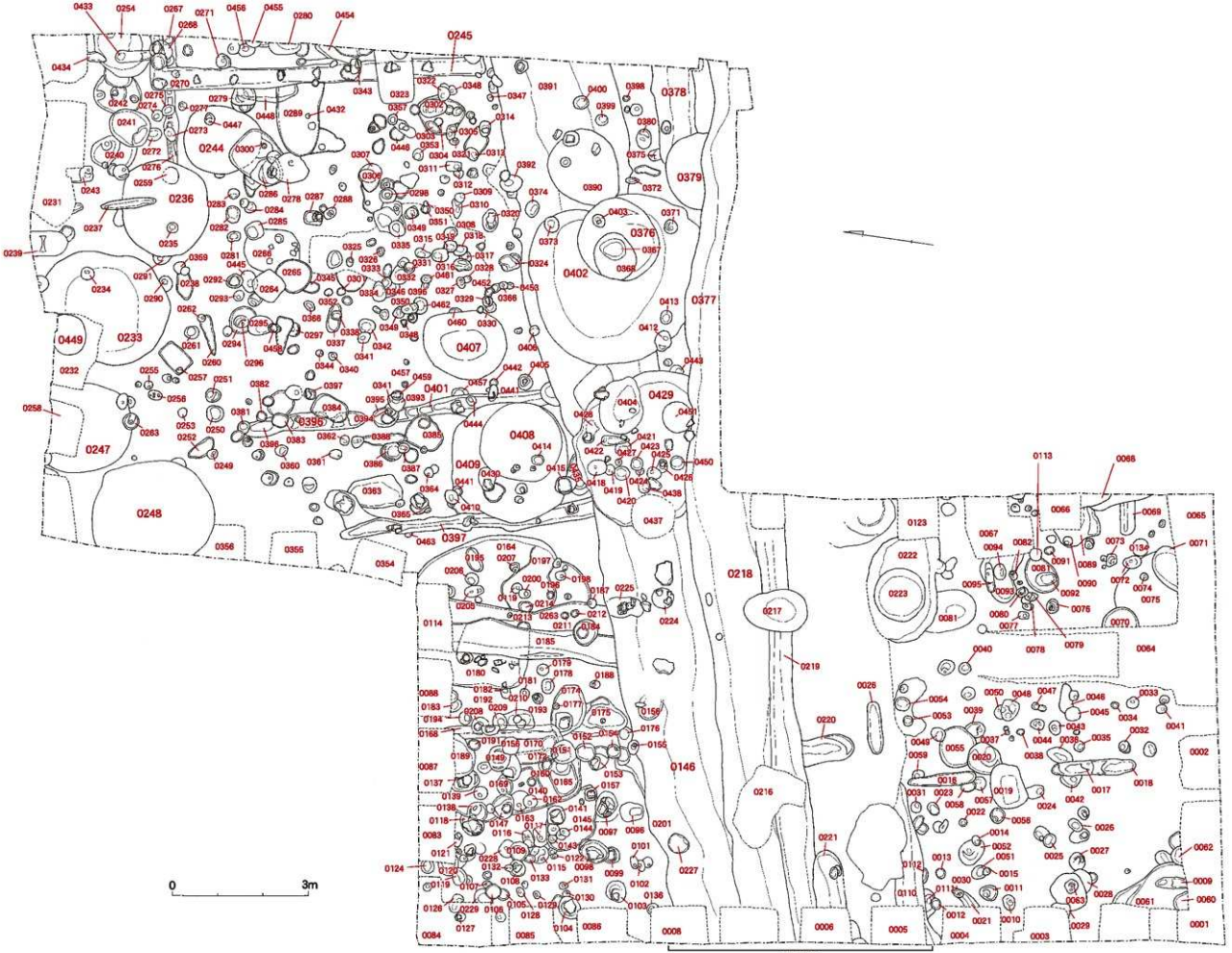
1）井戸

SE0075（第 5 図） Ⅰ区南東端に位置する。平面は楕円形で長径 194㎝、短径 149㎝、深さ 151㎝を測る。井筒は確認できず、白磁碗Ⅱ類、瓦器椀、滑石製石鍋片などが出土した。12 世紀前後か。出土遺物（第 5 図 001 ～ 009）。001 は陶器甕で復元口径 14.9㎝を測る。釉は暗緑褐色を呈し発泡している。002 は黒色 B 類椀で復原口径 16.8㎝を測る。にぶい光沢の黒色で、全体に粗いミガキを施す。003 は瓦器椀で復元口径 15.6㎝を測る。底部はヘラ切り・板状圧痕で内面は丁寧なナデを施す。004・005 は土師坏で、004 は復原口径 16.2㎝、器高 3.5㎝を測り底面は糸切りである。005 は復原口径 15.4㎝、器高 2.7㎝を測る。外底部は糸切り・板状圧痕である。006 は高台付土師皿である。口径 11.2㎝、器高 2.3㎝を測り糸切りである。007 ～ 009 は土師皿である。007 は口径 9.1㎝、器高 1.5㎝を測る。回転ヘラ切り・ナデ・板状圧痕を施す。008 は復元口径 10.7㎝、器高 1.1㎝を測る。外底部は糸切り・板状圧痕である。009 は復元口径 8.8㎝、器高 1.05㎝を測り糸切りである。

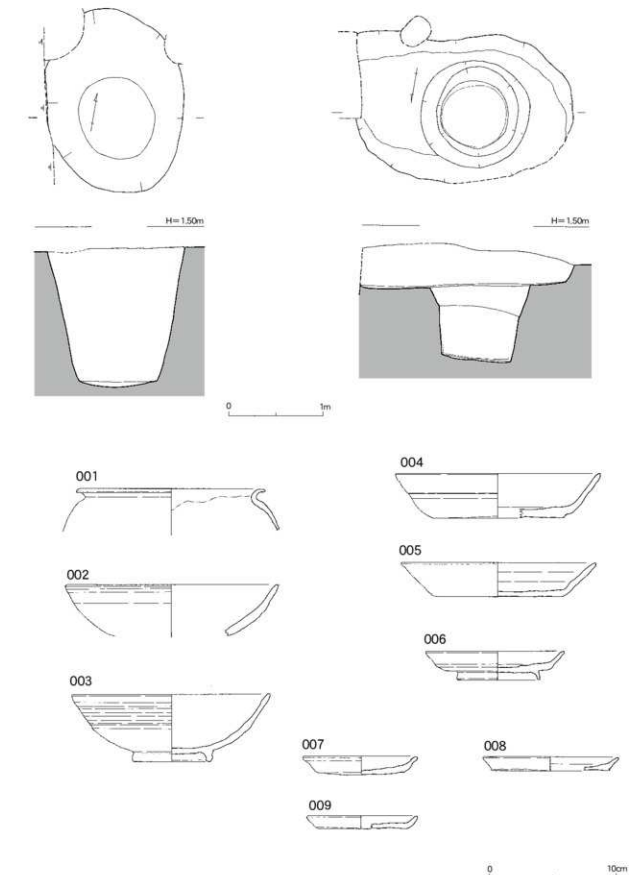
SE0223（0222）（第 5 図） Ⅰ区東縁部に位置する。井筒掘方（0223）は SK0222（長径 223㎝、短径 154㎝の不整楕円形）の底面中央に位置する。SK0222 は SE0223 に伴う作業場（洗い場）等か。SK0222 の掘方の深さは 40㎝を測る。SE0223 の平面はほぼ正円で径 113㎝、底径 72㎝、深さ 86㎝を測る。井筒は底面直上で木質痕を確認した。径は 66㎝で曲物か木桶かは不明である。白磁碗Ⅸ類の他、陶器盤、陶器鉢、陶器壺など貿易陶磁が多く出土した。13 世紀後半～ 14 世紀と考えられる。出土遺物（010 ～ 025）。いずれも 0223 からの出土である。010・011 は陶器短頸壺で釉が若干異なり別個体と思われる。010 は復原口径 7.1㎝を測る。釉は外面が光沢がある茶色、内面は暗銀色である。巻上げ痕が粗く残り、一部ヘラで撫でた痕跡が残る。011 は底径 6.7㎝を測る。釉は外面茶褐色である。012 は白磁Ⅸ類碗で口縁端のみ露胎である。013 は龍泉窯系青磁碗Ⅱ類で胎土は灰色、釉はオリーブ色を呈す。014 ～ 018 は高台付土師坏である。014・015 は大型で、014 は坏部底径 14.3㎝を測り、底部は糸切りである。015 は復元口径 18.3㎝を測る。外底部・内面はナデを施す。016 ～ 018 は高台部のみである。019 は土師器坏で復元口径 11.3㎝、器高 2.1㎝を測り、底部は糸切りである。020・021 は高台付土師皿である。020 は復元口径 7.8㎝を測る。021 は底部は糸切りである。022 ～ 023 は土師皿でいずれも糸切りである。022 は復元口径 8.7㎝、器高 1.3㎝を測る。023 は復原口径 8.3㎝、器高 1.2㎝を測る。024 は復原口径 8.6㎝、器高 0.9㎝を測る。025 は須恵器大甕である。外面は格子タタキで内面は丁寧なナデを施す。

SE0233（第 7 図） Ⅱ区北端に位置し、遺構の北端が調査区外に延びる。平面は南北に長い不整円形で推定長径 2.9 ｍを測る。深さは 1.3 ｍで底面から約 30㎝上で井戸枠の木質痕を確認した。井戸枠径は 56㎝を測る。埋土は暗灰褐色を主とし白色砂層を挟むレンズ状の堆積で、最下層の柱穴状の中は暗灰色粘質土である。13 世紀後半～ 14 世紀と考えられる。出土遺物（第 7 図 026 ～ 030）。026 ～ 028 は須恵質鉢である。026 は復原口径 27.4㎝を測る。口縁端のみ黒色で他は灰白、全体が回転ナデである。027・028 は全体に回転ナデを施す。029 は陶器鉢Ⅱ -1 類である。030 は須恵質丸瓦である。灰白色を呈し、胎土に砂を少量含む。凹面は布目圧痕、凸面は縄目タタキを施す。

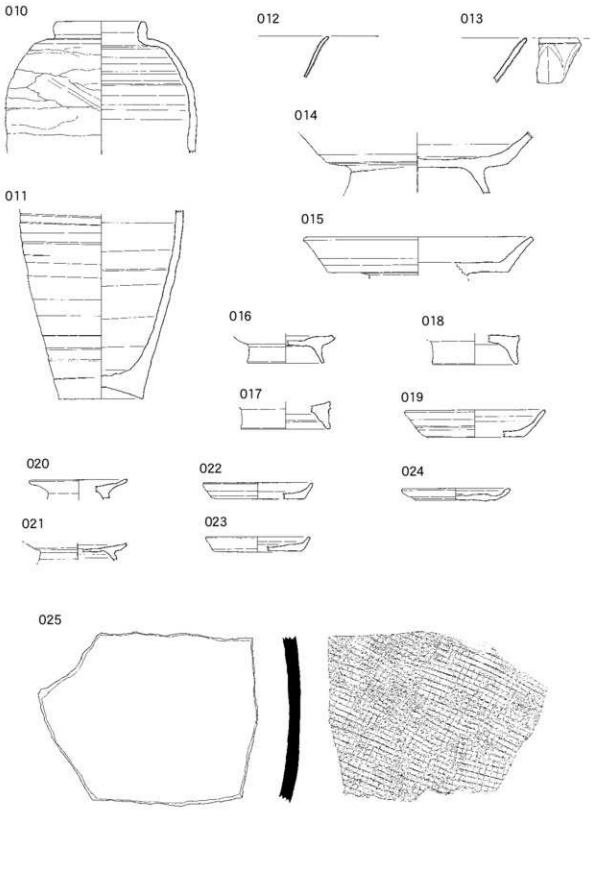
SE0236（第 8 図） Ⅱ区北側に位置する。平面形は東西に長い楕円形を呈し、長径 2.1 ｍ、短径 1.9 ｍを測る。断面は漏斗状で、中央に径 45㎝、深さ 32㎝の柱穴状の掘込みがある。底面の標高は海抜 0.35 ｍである。調査中に湧水はなかったが、形態から井戸の可能性が高い。11 世紀末～ 12 世紀前半と考えられる。出土遺物（第 9 図 031 ～ 038）。031 は白磁碗Ⅳ類である。復原口径 16.4㎝を測る。032 は白磁壺で径 7.8㎝を測る。内面と外底部は露胎で、外底部に墨書を施す。033 は白磁



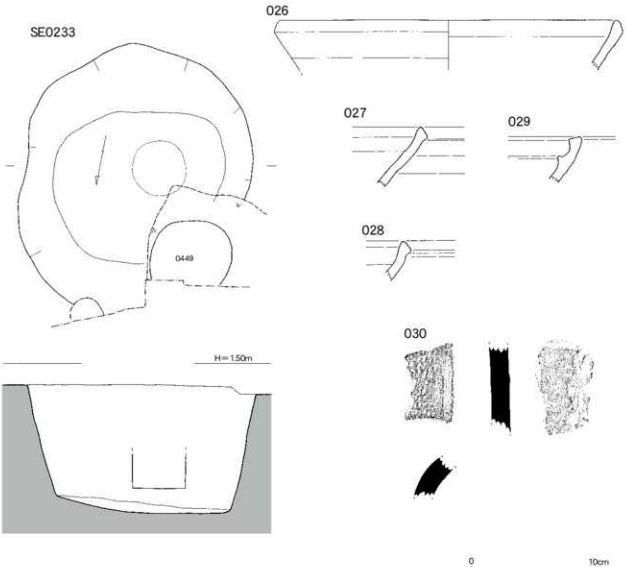
第４図　調査区全体図（1/80）



第５図　SE0075・SE0222(0223)遺構・遺物実測図(1/40・1/3)

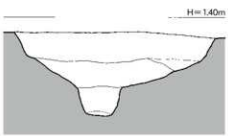


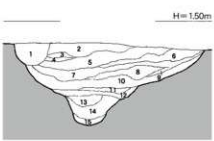
第 6 図　SE0223 遺物実測図 (1/3)



第 7 図　SE0233・SE0449 遺構・遺物実測図 (1/40・1/3)

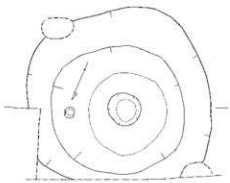
SE0236

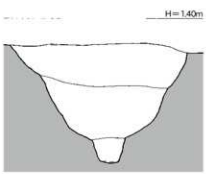


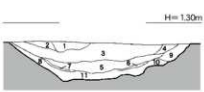


1. 暗灰茶褐色土　炭化物少量含む
2. 暗灰褐色土　粗砂多く含む
3. 暗灰褐色粗砂
4. 黒褐色土　炭化物粒を多く含む
5. 白色粗砂
6. 灰色土　粗砂多量に含む
7. 暗灰褐色粘質土
8. 灰白色粗砂層
9. 茶褐色砂
10. 灰色土
11. 茶褐色砂
12. 暗灰色粘質土　褐色粗砂を多量に含む
13. 灰白色粗砂
14. 暗灰色粘質土
15. 暗灰色粘質土　14 層との間に薄い粗砂層をはさむ

SE0247

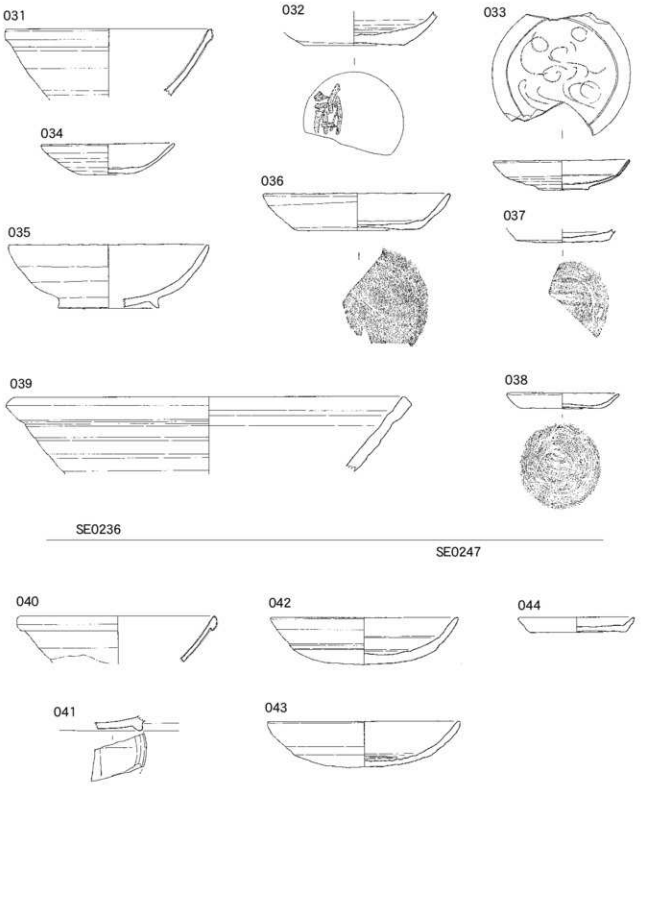




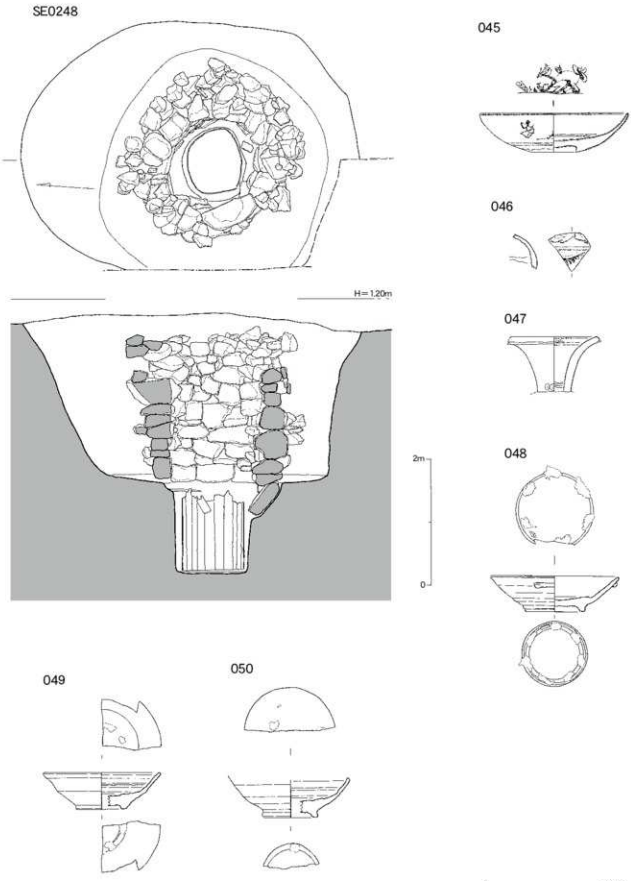


1. 暗灰褐色土　炭化物少量含む
2. 褐色土　粗砂多量に含む
3. 暗灰茶褐色土　炭化物少量含む
4. 灰褐色土　粗砂多く含む
5. 暗灰褐色土
6. 褐色粗砂
7. 褐色粗砂
8. 暗黄褐色シルト（汚れた地山のシルト）
9. 灰色土　粗砂多量に含む
10. 灰色砂質土
11. 灰色粘土

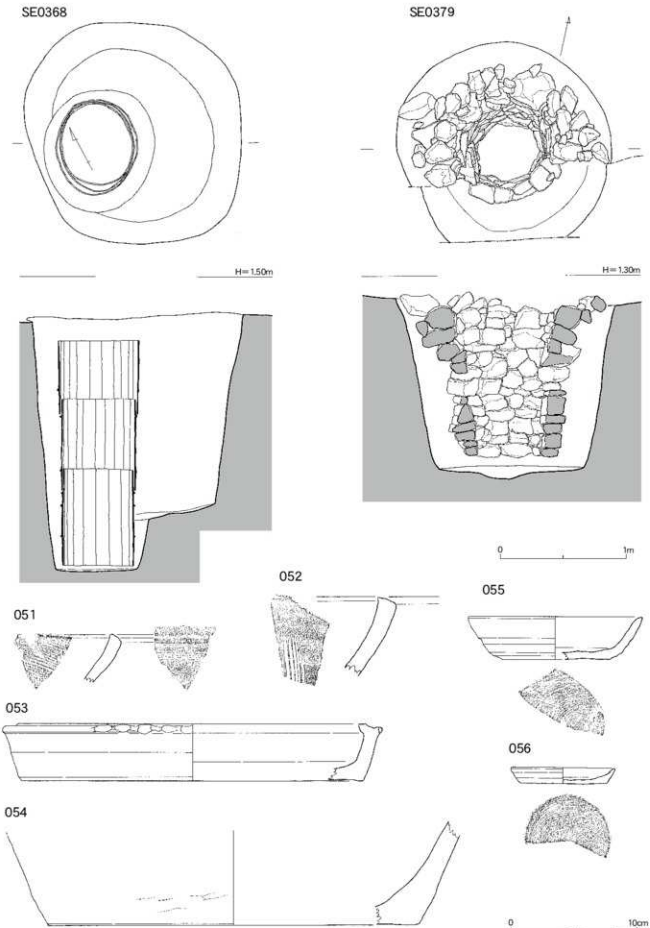
第 8 図　SE0236・SE0247 遺構実測図 (1/40)



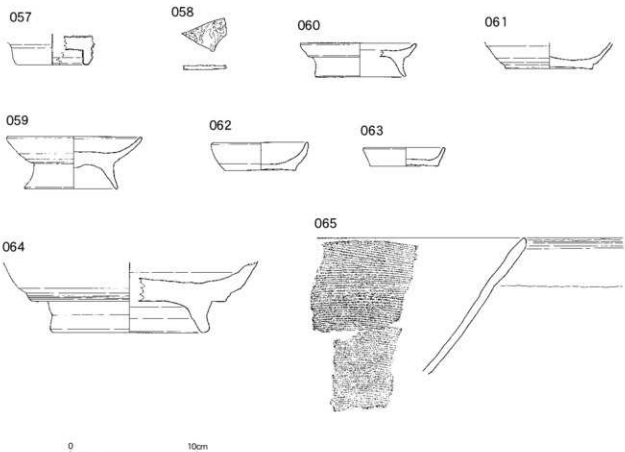
第 9 図　SE0236・SE0247 遺物実測図 (1/3)



第 10 図　SE0248 遺構・遺物実測図(1/60・1/3)



第 11 図　SE0368・SE0379 遺構・遺物実測図 (1/30・1/3)

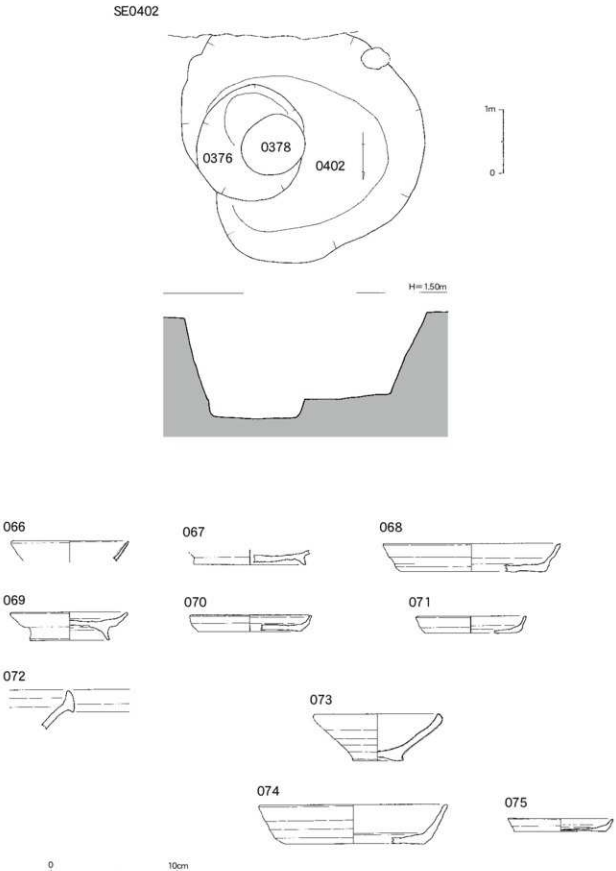


第 12 図　SE0379 遺物実測図 (1/3)

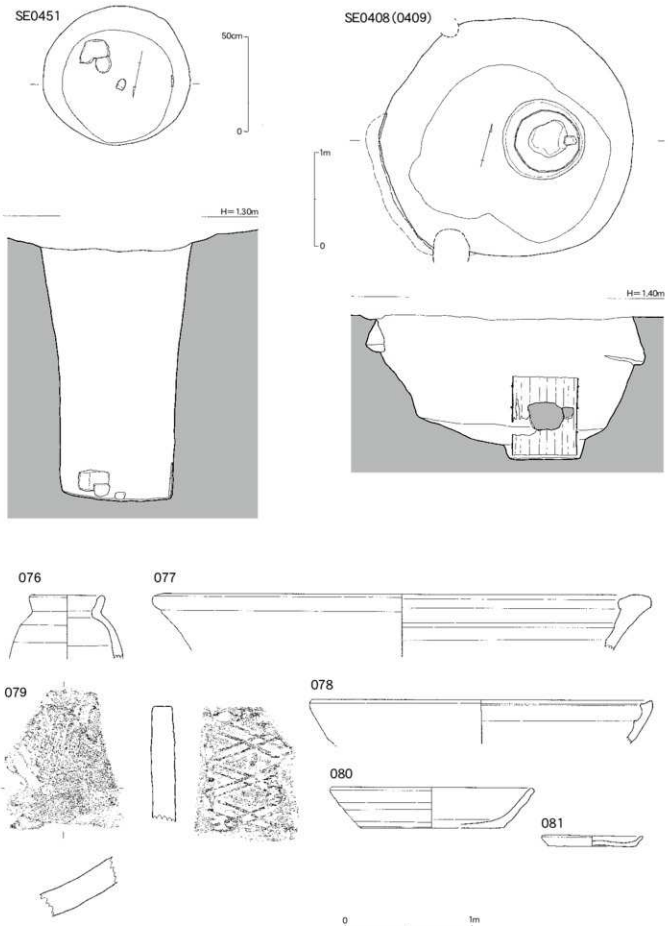
Ⅲ-2 類である。口径 10.8㎝、器高 2.4㎝を測る。内底部に草花文を施す。034 は白磁Ⅲ類である。口径 10.6㎝、器高 2.4㎝を測る。胎土・釉は灰白色で外底部のみ露胎である。035 は土師椀である。復原口径 15.8㎝、器高 5.0㎝を測る。高台断面は二等辺三角形を呈す。036 は土師坏で復原口径 15.0㎝、器高 2.9㎝を測る。外底部は丁寧なナデ・板状圧痕である。037・038 は土師皿である。037 は復原底径 7.4㎝を測る。外底部は回転ヘラ切り・板状圧痕である。038 は口径 8.9㎝、器高 1.2㎝を測る。外底部は糸切り・板状圧痕で器壁は薄い。内面と口縁端に煤が付着し灯明皿である。039 は須恵質鉢で復原口径 31.8㎝を測る。全体に回転横ナデが残る。

SE0247（第 8 図）　Ⅱ区北端に位置し、遺構の北端が調査区外に延びる。平面形は隅丸方形で東西径 1.9 ｍを測る。掘方断面は擂鉢状で、底面に径 35㎝、深さ 26㎝の柱穴状の掘込みがある。柱穴状掘込み底面の標高は海抜－ 12㎝を測る。調査中の湧水はない。当初下半の掘込みに気がつかず、土層観察は上半のみである。11 世紀後半頃と考えられる。出土遺物（第 9 図 040 ～ 043）。040 は白磁碗Ⅳ類である。口径 15.4㎝を測る。胎土は灰白色、釉は半透明である。外面下半が露胎である。041 は瓦器椀底部で高台断面三角形を呈す。外底部に線刻がある。本来は「十」字か。042・043 は土師坏である。042 は口径 14.9㎝、器高 3.5㎝を測る。外底部は回転ヘラ切り・押し出し・板状圧痕・ナデである。043 は復原口径 15.3㎝、器高 3.6㎝で外底部は回転ヘラ切り・押し出し・板状圧痕・丁寧なナデを施す。内底部には押し出し時の段が残る。044 は土師皿で口径 9.15㎝、器高 1.2㎝を測る。外底部は糸切り・板状圧痕で、内底部には静止ナデを施す。

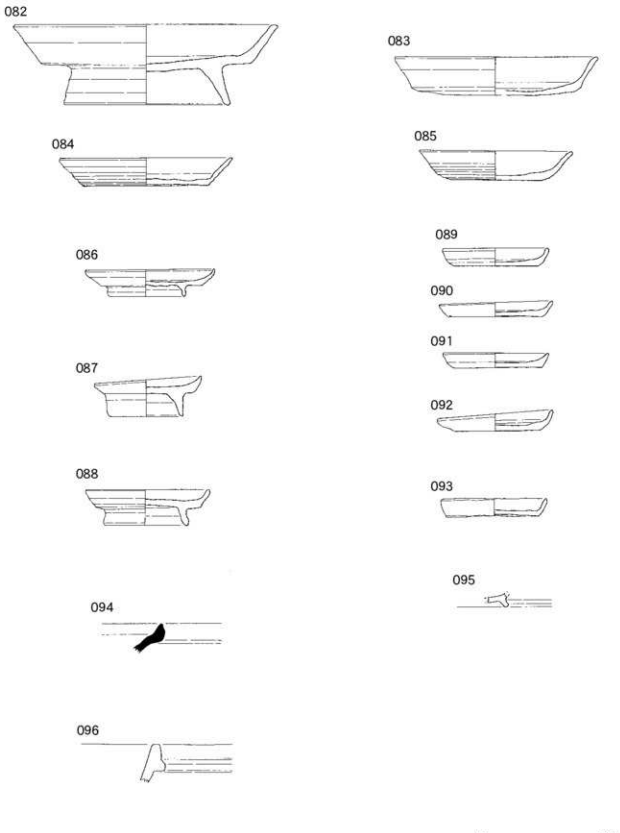
SE0248（第 10 図）　Ⅱ区北端に位置し、上部が石積み、下層が木桶である。掘方上面は南北に長い



第 13 図　SE0402 遺構・遺物実測図 (1/60・1/3)

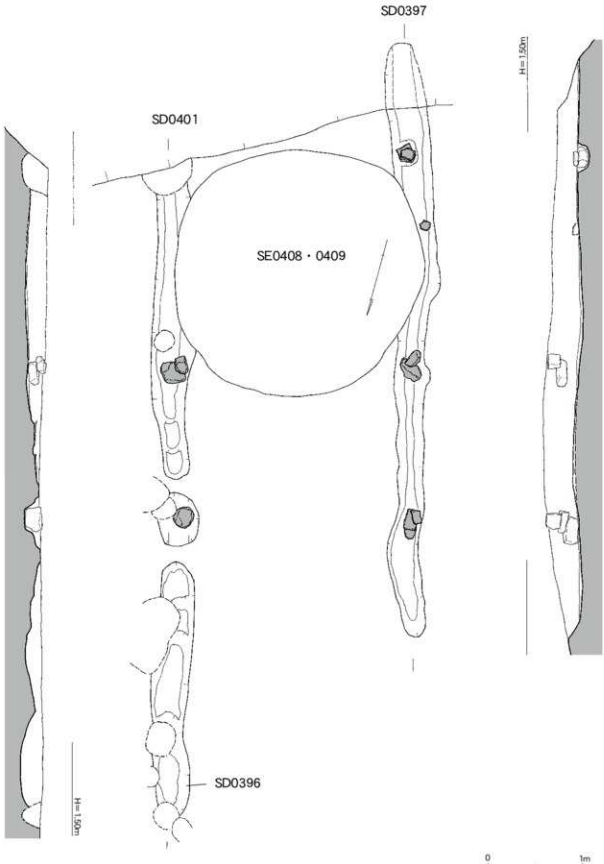


第 14 図　SE0451・SE0408(0409) 遺構・遺物実測図 (1/20・1/40・1/3)



第 15 図　SE0451 遺物実測図 (1/3)

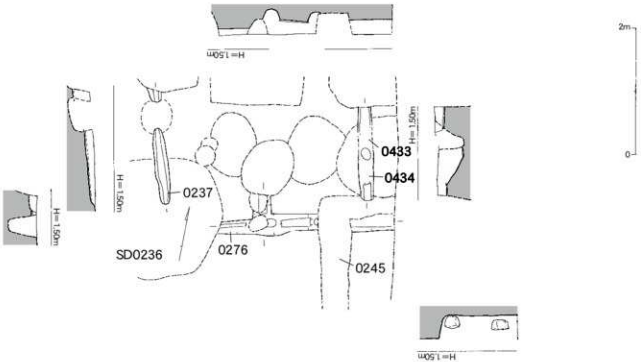
SX01



第 16 図　SX01 遺構実測図 (1/40)

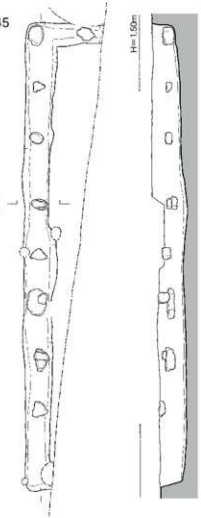
SX03

SD0237・0276・0433・0434

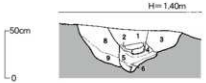


SX02

SD0245



SD0245 土層



土層断面

1. 暗褐灰色土　粗砂多く含む　炭化物少量含む
2. 灰黄褐色土
3. 黄褐色シルト　粗砂少量含む
4. 灰黄褐色土　炭化物小片含む
5. 暗灰褐色粘質土　炭化物小片多く含む
6. 褐色粗砂
7. 暗灰褐色粘質土
8. 灰茶褐色土　暗黄褐色砂含む　炭化物小片含む
9. 灰褐色土

※8・9層はSD0245に切られるSK0448の埋土

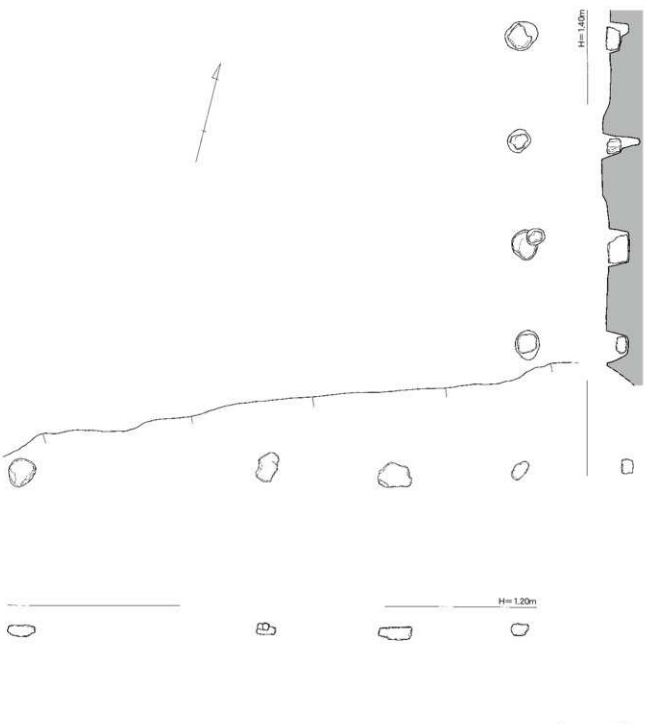
第17図　SX02・SX03(SD0245)遺構実測図(1/60・1/40)

楕円形で径 2.7 mを測る。掘方断面は深さ 1.3 mまでは逆台形を呈し、平坦面中央を径 60cm、深さ 80cmほど掘り下げて木桶を据える。木桶は土圧でつぶれて平面が楕円形を呈し、井筒長径 49cm、高さ 65cmを測る。板は幅 5 ～ 9cmを測る。石積みは径 25 ～ 40cm程の円礫が主だが、上端から 30cm下までは径 15 ～ 25cm前後の小さめの礫を使用する。16 世紀中頃と考えられる。出土遺物(第 10 図 045 ～ 049)。045 は染付磁器皿で復原口径 12.0cm、器高 3.1cmを測る。外面は青色、内底部に青黒色の絵付を施す。046 は染付磁器の壺肩部である。胎土は白色、釉は透明で外面のみである。顔料は青で草花文を描く。047 は朝鮮象嵌青磁の壺である。口縁から頸部のみの遺存で復原口径 7.4cmを測る。頸部に白色の印花文を巡らす。048 ～ 050 は朝鮮陶磁小碗である。048 は復原口径 13.2cm、器高 2.8cmを測る。内底に 6 個、外底に 7 個の白色粗砂の目跡が残る。胎土は灰色、釉は透明で全面に施釉する。049 は復元口径 9.3cmを測る。内底・外底に目跡が残る。胎土は褐色～灰色で釉は灰色でムラがある。全面に施釉する。050 は復元高台径 4.4cmを測る。内底・外底に目跡が残る。胎土は灰色で釉は透明で全面に施釉する。外底の一部は回転ヘラケズリ、他は回転ナデである。

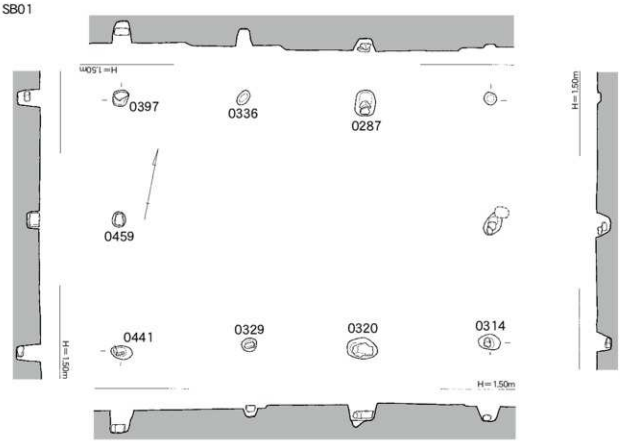
SE0368・0376(第 11 図)　第Ⅱ区南側に位置する。井筒が 0368 で井筒掘方が 0376 である。掘方平面は円形で径 1.7 mを測る。検出面から 1.5 m程下に平坦面を築き、その西端を径 90cm、深さ 50cm円筒形に掘り下げて木桶を据える。井筒は桶組で 3 段分遺存する。木桶を下から 1 段目とすると、1 段目は径 57cm、高さ 76cm、2 段目は径 59cm、高さ 73cm、3 段目は径 63cm、遺存高 56cmを測る。1 段目は 3 カ所、2 段目は 2 カ所を竹を編んだ箍で締め、上の桶は下の桶の一番上の箍に乗せて固定する。いづれも底板をはさむ掘込みはない。14 世紀頃と考えられる。出土遺物(第 11 図 051 ～ 056)。051・052 は擂鉢である。051 は土師質で内面は粗いハケを施す。052 は陶製で内外面とも回転ナデである。053 は瓦質火鉢で復元口径 29.0cm、器高 4.5cmを測る。黒色を呈す。054 は陶器大甕の底部で復元底径 29.2cmを測る。055 は土師坏で復元口径 13.8cm、器高 3.4cmを測る。外底部は糸切り、056 は土師皿で復元口径 8.2cm、器高 1.3cmを測る。外底部は糸切りである。

SE0379(第 11 図)　Ⅱ区南東端に位置する石積みの井戸で、遺構南半は深さ 120cmほど SD0377 の削平をうける。掘方は円形で径 1.7 mを測り、断面は逆台形で検出面からの深さ 1.4 mを測る。石積みは底面の 12cm上から始まる。石積み底面から上 50cmはほぼ垂直な積み上げて積み方も丁寧だが、その上は東西 2 カ所に高さ 20cmほど土が露出した部分あり、それから上は石の大きさも不揃いで積み方もやや乱雑である。13 ～ 14 世紀頃と考えられる。出土遺物(第 12 図 057 ～ 065)。057 は龍泉窯系青磁碗の高台部である。胎土は灰色で、釉はオリーブ色を呈し畳付以外は厚く掛かる。058 は白磁皿Ⅸ類の底部である。内底部に押型による草花文を施す。059・060 は高台付土師皿である。059 は口径 10.3cm、器高 4.1cmを測る。高台は薄く高い。全面にナデを施す。060 は復元口径 9.3cm、器高 2.7cmを測る。061 は土師坏で復原底径 6.9cmを測る。外底部は回転糸切りである。062・063 は土師皿である。062 は口径 7.7cm、器高 2.2cmを測る。回転糸切りである。063 は復原口径 6.5cm、器高 1.5cmを測る。回転糸切りである。064 は高台付土師盤である。復原底径 15.2cmを測る。外面は全面回転ナデで、内面は厚く炭化物が付着する。065 は土鍋である。外面は煤が付着し黒色、内面は明茶褐色で粗い横ハケを施す。口縁端から 4.5cmのところにわずかに段がつく。

SE0402(第 13 図)　Ⅱ区南側に位置し、東端を SE0376 に、南端を SD0377 に切られる。平面は東西に長い楕円形で長径 3.7 m、深さ 1.4 mを測る。井筒は確認できず SE0376 が井筒の可能性もある。13 世紀後半～ 14 世紀前半頃と考えられる。出土遺物(第 13 図 066 ～ 075)。066 ～ 072 は上層、073 ～ 075 は下層から出土した。066 は白磁皿Ⅸ類で復元口径は 9.4cmを測る。067 は瓦器椀である。底径 8.9cmで高台断面は二等辺三角形を呈す。068 は土師坏で復元口径 14.1cm、器高 2.2cmを測る。外底部は糸切り・板状圧痕である。069 は高台付土師皿で復原口径 9.3cm、器高 2.2cmを測る。外底部は糸切りで高台は細く高い。070・071 は土師皿である。070 は復元口径 9.7cm、器高 1.3cmを測る。外底部は糸切り・板状圧痕である。071 は復原口径 8.7cm、器高 1.3cmを測る。外底部は糸切り・板



第 18 図　SA01 遺構実測図 (1/60)



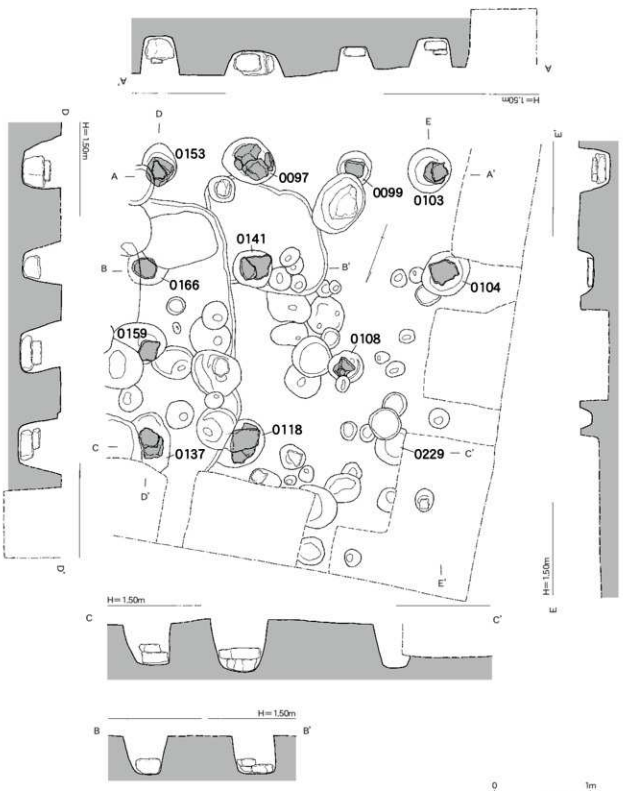
第 19 図　SB01 遺構実測図 (1/60)　0　2m

状圧痕である。072 は東播系須恵質鉢である。全面剥落しており調整不明。胎土は灰色である。073 は陶器皿で復原口径 10.3㎝、器高 3.7㎝を測る。胎土は暗紫で釉は内面が黒褐色、外面は茶色を呈す。外底部はヘラナデを施す。074 は土師坏で復元口径 15.1㎝、器高 3.1㎝を測る。外底部は糸切りである。075 は土師皿で復原口径 8.4㎝、器高 1.0㎝を測る。底部は糸切り・板状圧痕である。

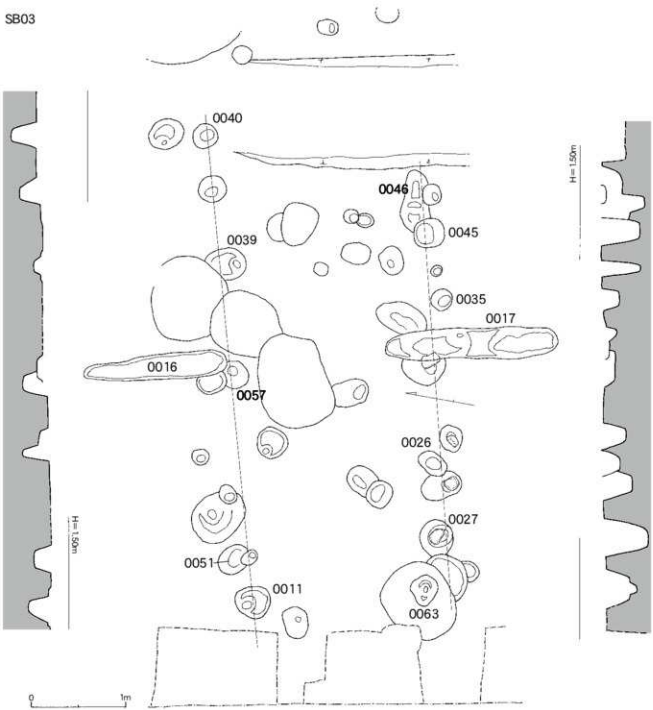
SE0408・409（第 14 図）　Ⅱ区南西側に位置する桶組の井戸である。当初別々の遺構と考えたが、0408 は井筒の抜穴、0409 は井戸掘方である。掘方は東西に長い楕円形で長径 4.0 m、短径 3.8 m を測る。検出面から 1.1 ～ 1.35 mの深さで平坦面を築き、そこから径 85㎝の円柱状に約 20㎝掘込み井筒を据える。井筒の木桶は一段だけの遺存で径 69㎝、高さ 84㎝を測る。木桶は 21 枚の板を使用し 3 カ所を箍で締める。井戸底面から 30㎝上で径 40㎝、高さ 30㎝の礫が出土した。14 世紀頃か。出土遺物（第 14 図 076 ～ 081）。いずれも 0408 の出土である。076 は陶器壺で復原口径 6.0㎝を測る。胎土は赤褐色、釉は薄く褐灰色を呈す。077 は土師質鉢で復元口径 38.6㎝を測る。剥落のため調整不明。078 は陶器鉢Ⅰ -1b 類である。079 は須恵質平瓦である。凸面に細い 2 重の斜格子、凹面には布圧痕が残る。080 は土師坏で復元口径 16.2㎝、器高 3.2㎝を測る。外底部は糸切り・板状圧痕である。081 は土師皿である。復元口径 8.0㎝、器高 0.8㎝を測る。底部は糸切りである。

SE0449（第 7 図）　Ⅱ区北端に位置する。SE0233 北西部の攪乱底面で確認した。掘方径 86㎝、深さ 54㎝を測る。井筒は確認できなかった。遺物は出土していない。SE0233 に切られる。

SB02



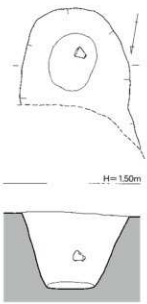
第 20 図　SB02 遺構実測図 (1/40)



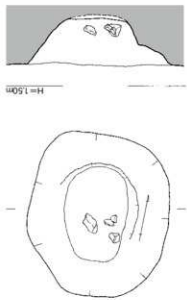
第 21 図　SB03 遺構実測図 (1/40)

SE0451（第 14 図）　Ⅱ区南西端に位置する。平面形は円形で径 78㎝、底径 58㎝、検出面からの深さ 138㎝を測る。井筒は確認できなかったが、底面西端で幅 7㎝、高さ 20㎝の木片が壁に沿って立った状態で出土した。井筒の残骸かどうかは不明である。底面直上で径 6 ～ 16㎝の礫が 3 点出土した。13 世紀前半頃と考えられる。出土遺物(第 15 図 082 ～ 096)。082 は高台付土師坏である。復原口径 20.9㎝、器高 6.4㎝を測る。外底部は回転ナデで一部に糸切り痕が残る。083 ～ 085 は土師坏である。083 は復元口径 16.2㎝、器高 3.0㎝を測る。底部は糸切り・板状圧痕・ナデである。084 は復原口径 13.7㎝、器高 2.2㎝をはかる。底部は糸切り・板状圧痕である。085 は復原口径 12.2㎝、器高 2.3㎝を測る。底部は糸切りである。086 ～ 088 は高台付土師皿である。086 は口径 10.3㎝、器高 2.1

SK0081

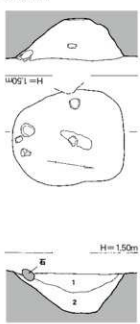


SK0244



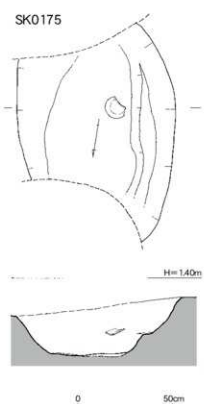
1. 暗灰褐色土
白色粗砂多く含む
2. 褐色土　粗砂多く含む
3. 灰黄褐色土
黄色シルト（地山）ブロックを層理状に含む
4. 灰色土　粗砂多量に含む
5. 灰色土
6. 暗灰褐色粘質土
水性堆積の泥
7. 暗灰褐色粘質土
粗砂多量に含む

SK0266

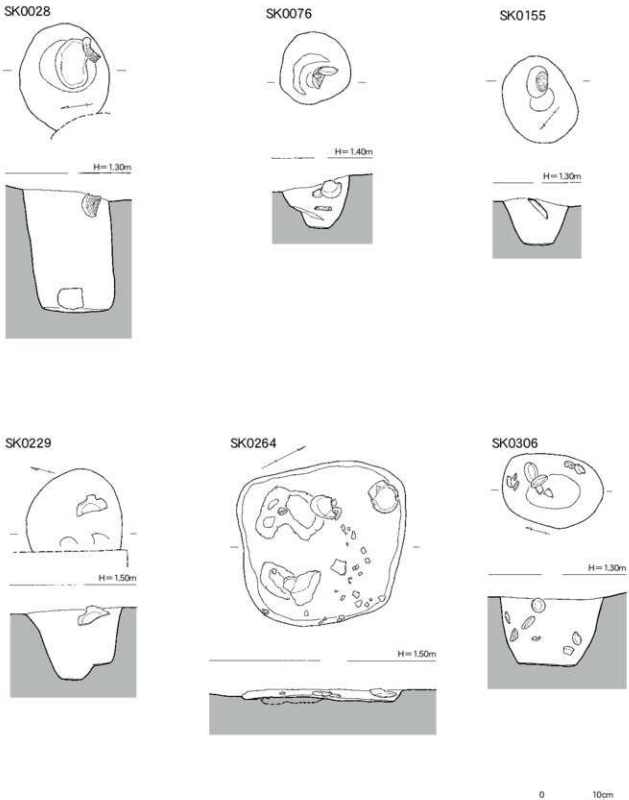


1. 暗褐色土　白色砂多く含む
2. 暗灰褐色土　やや粘性帯びる

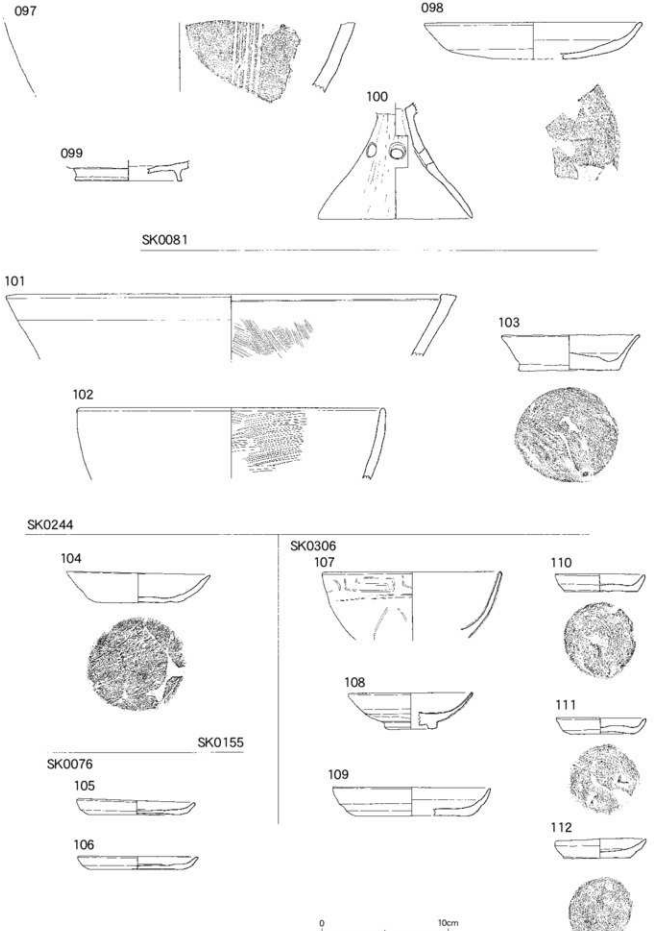
SK0175



第 22 図　土坑実測図 1（1/20・1/40）



第 23 図　土坑実測図 2 (1/15)



第 24 図　土坑遺物実測図 1 (1/3)

cmを測る。底部は糸切り・板状圧痕・ナデである。087は口径8.5cm、器高3.2cmを測る。底部は回転ナデで端部に糸切り痕が残る。088は復原口径9.8cm、器高2.8cmを測る。外底部は回転ナデを施す。089～093は土師皿である。089は口径8.4cm、器高1.4cm、底部は糸切りである。090は口径9.1cm、器高1.25cm、底部は糸切り・板状圧痕である。091は口径8.4cm、器高1.2cm、底部は糸切りである。092は口径9.2cm、器高1.7cm、底部は糸切り・板状圧痕・ナデである。093は口径8.3cm、器高1.4cmで底部は糸切り・板状圧痕である。094は須恵質鉢である。口縁端のみ黒色を呈す。094は瓦器椀である。高台は細く、外側に開く。096は滑石製石鍋片である。

2）柵・塀

SX01（第16図） Ⅱ区南西側に位置する。2.5m離れて並行する2条の溝である。東側がSD0396・0401、西側がSD0397である。方位はN-26°-Wで、SD0396・0401が長さ7.2m、最大幅47cm、深さ23cm、SD0397が長さ6.3m、最大幅43cm、深さ32cmを測る。いずれも南側はSD0391に切られ、また中央に位置するSE0409の掘方にも切られる。2条とも根石を持つが、SD0369・0401の2個の根石間の距離は1.6m、SD0397の3個は2.3mと1.6mと不規則である。このうち1.6m間隔の根石が対応するため同時期と考えられる。これを建物とすると幅2.5m、長さ8.2m以上という細長く、また柱幅が不規則なため、道路両側の柵・塀と考えたい。0396・0401から白磁碗、瓦器椀などが、西側のSD0397から同安窯系青磁碗が出土した。12世紀中頃～13世紀と考えられる。

SX02（第17図） Ⅱ区東端に位置する溝状の遺構で遺構番号は0245である。溝は南北方向の長さが7.5mを測り、両端とも直角に東側へ曲がる。最大幅53cm、深さ54cmを測り、南北溝の方位はN-15°-Wである。溝の底から若干浮いた状態で根石が出土した。土層観察では根石の下は版築状である。根石の大きさは17～47cmで根石の間隔は53～86cmである。南北溝の南端の根石は確認できなかった。14世紀頃か。溝の南端はSD0391の繰間際で立ち上がるため同溝を意識したと思われる。

SX03（第17図） Ⅱ区北側に位置する溝群（SD0237・0260・0276・0434・0433）である。区画溝と思われるが、井戸や攪乱により遺存状態が悪く、時期は不明である。このうち東西方向の溝であるSD0276はSX02の北側東西部に切られる。出土遺物はいずれも小片である。。

SA01（第18図） Ⅰ区北側に位置する根石を持つ「L」字状に並ぶ柱穴列である。南側の東西列はSD0146の埋没後に掘られており、柱穴掘方に気がつかず溝の掘り下げ中に出土した。柱間は約2mを測る。西端は調査区外に伸びるものと思われる。南北列は柱間が1.7～2.0mとやや狭く根石も小さい。根石上面のレベルはほぼ同じである。SD0218・0377と同一方向で、溝に沿う柵・もしくは塀と考えられる。遺物は土師皿片（糸切り）などが出土した。

3）掘立柱建物

SB01（0227・0415）（第19図） Ⅱ区中央東寄りに位置する。2×3間の建物で面積約24㎡を測る。柱穴は径が20～50cmと小さいが、そのうち9基が根石を持つ。SX01・02に挟まれた中央に位置し、これらが同時期の遺構である可能性がある。遺物は0287・0314・0320・0329・0336・0397・0441・0459から出土したがいずれも小片である。

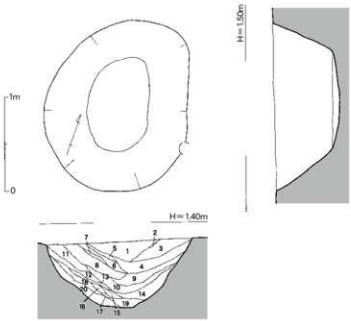
SB02（第20図） Ⅰ区北端に位置する。現状では東西3.0m、南北2.8mの3×3間の建物と復原しているが、北側と西側が攪乱と調査区端に接し、また建物北西角が明確でないことから更に延びる可能性がある。3×3間とすると面積8.4㎡を測る。総柱ではないが、建物内部にも柱があった可能性がある。柱穴は径42～56cmで、そのうち11基が根石を持つ。11世紀後半～12世紀頃か。

SB03（第21図） Ⅰ区南側で出土した。明確な建物は建たないが、大溝南側の遺構密度が薄い所に柱穴が集中する。西海道が那珂川と交差する場所であり、河の前にSD0016・0017と組み合わせた門などの施設があったのではないだろうか。遺物は白磁や土師皿の小片で時期は不明である。

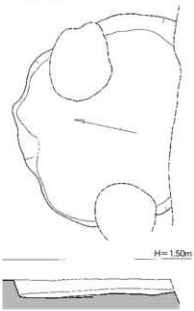
4）土坑

SK0081（第22図） 調査区中央からやや南西寄りに位置する。北側をSK0222に切られる。現状で

SK0407



SK0429

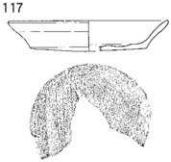


1. 暗灰褐色土
2. 灰色粗砂
3. 灰茶褐色土
4. 暗灰茶褐色土
5. 暗灰褐色土
6. 灰色粗砂
7. 灰色土
8. 灰色土　粗砂多く含む
9. 暗灰褐色土
10. 暗灰褐色土
炭化物小片含む
11. 灰褐色土　粗砂多く含む
12. 暗灰褐色土　粗砂多く含む
13. 褐色粗砂
14. 暗灰褐色土　粗砂多く含む
15. 灰白色粘土
16. 褐色粗砂
17. 暗灰色土
18. 黄灰色土　粗砂多く含む
19. 灰白色粘土
20. 褐色粗砂

113

116

117

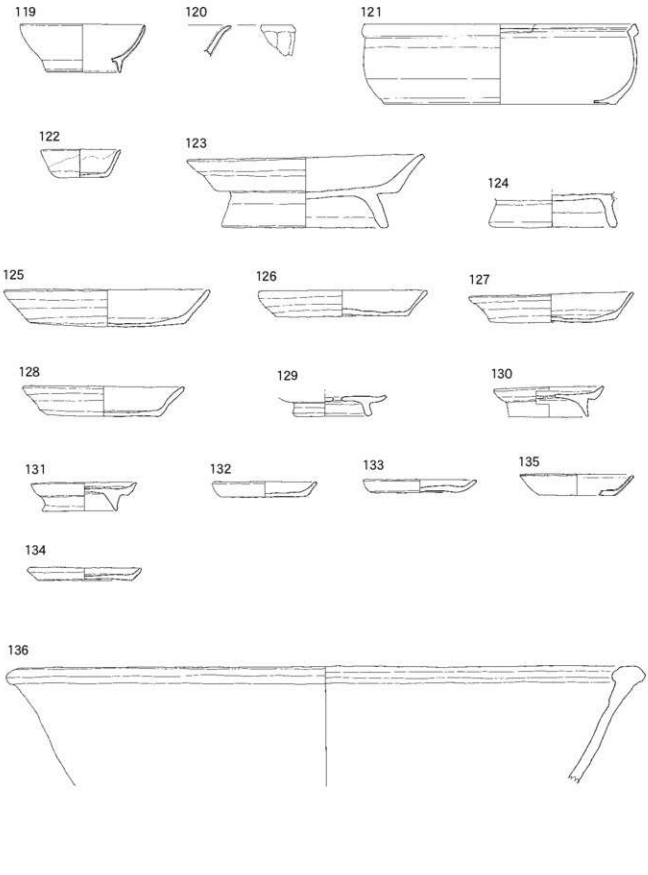


114

118

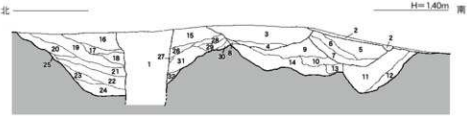
115

第 25 図　土坑実測図 3 (1/40・1/60・1/3)



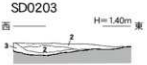
第 26 図　土坑遺物実測図 2 (1/3)

中央部大溝土層(溝の切り合い)　S＝1/40



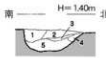
1. 近代井戸(井戸枠がコンクリ)
2. 褐色土　近代攪乱層
0218A 3. 灰茶褐色土
4. 灰褐色土　褐色細砂を多量に含む
5. 灰色粗砂
0218B 6. 灰褐色土　粗砂多く含む
7. 褐灰色粗砂
0218 8. 暗褐色土
9. 灰褐色粘質土　炭化物小片含む
10. 灰褐色粘質土　土器小片含む
11. 灰褐色粘質土
粗砂をやや層理状に含む
0219 12. 灰褐色粘質土　多量の褐色砂を
左下がりの薄い層状に含む
13. 灰褐色粘質土
14. 灰褐色土　多量の茶褐色砂を
水平な層状に含む
0201 15. 灰茶褐色土　砂多く含む
16. 灰褐色土　粗砂多く含む
17. 暗黄褐色土　炭化物・焼土ブロックを含む
0201 18. 暗灰褐色土　炭化物の粒を多く含む
19. 黄灰褐色土
20. 暗灰茶褐色土
21. 黒褐色土　暗黄褐色土ブロックを
右下がりの層理状に含む
22. 黒褐色土
23. 暗灰褐色土　茶褐色砂層右下がりの
層状に2枚含む
24. 暗灰褐色土　褐色粗砂を含む
25. 暗黄褐色土
0146 26. 暗灰褐色粘質土
27. 暗灰褐色粘質土
28. 灰茶褐色砂質土
黄色シルトホブロック含む
29. 灰白色粗砂
30. 灰黄褐色砂質土
31. 灰黄褐色土　厚さ5㎜程の黒褐色砂を
左下がりの層状に5枚はさむ
32. 灰茶褐色砂

SD0203



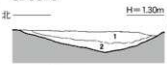
1. 灰茶褐色土
2. 灰褐色砂質土　黄色シルトブロック含む
3. 黒褐色土(SK0180 埋土)

SD0110



1. 灰茶褐色土　白色粗砂多く含む
2. 暗灰褐色土
3. 炭化物層
4. 灰褐色土　黄色シルト(地山)ブロック多く含む
5. 愛褐色土　土器片多く含む

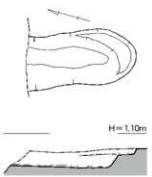
SD0396



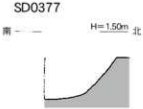
1. 明褐色砂質土
2. 黒褐色粘質土
炭化物粉を多く含む

SD0168

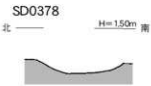
SD0220



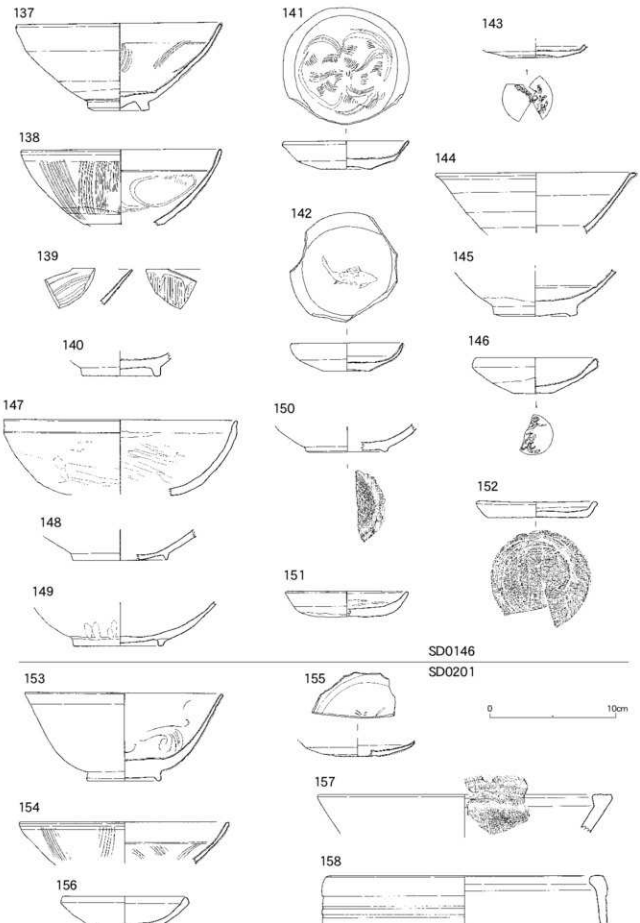
SD0377



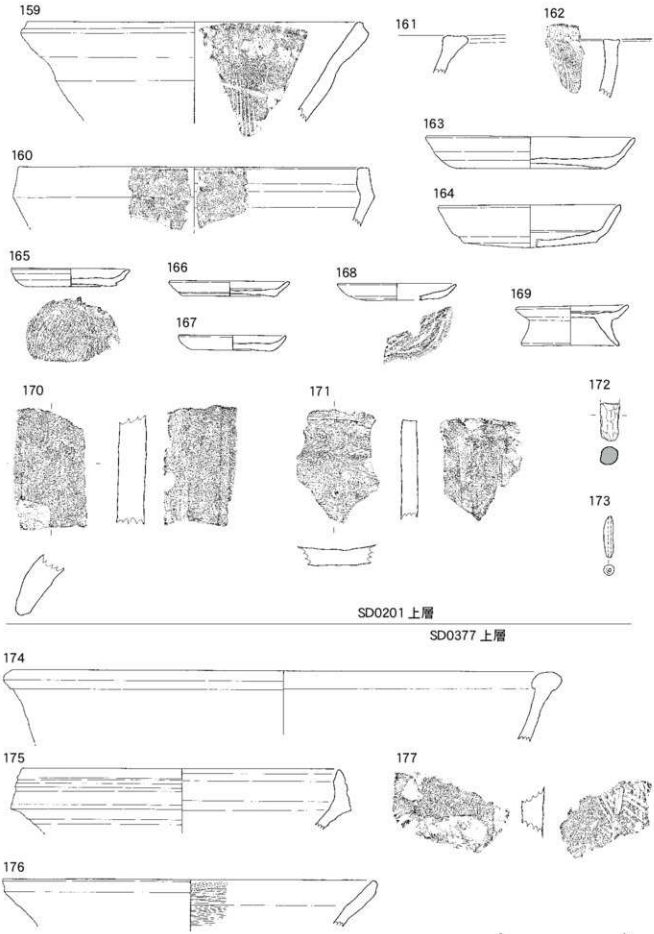
SD0378



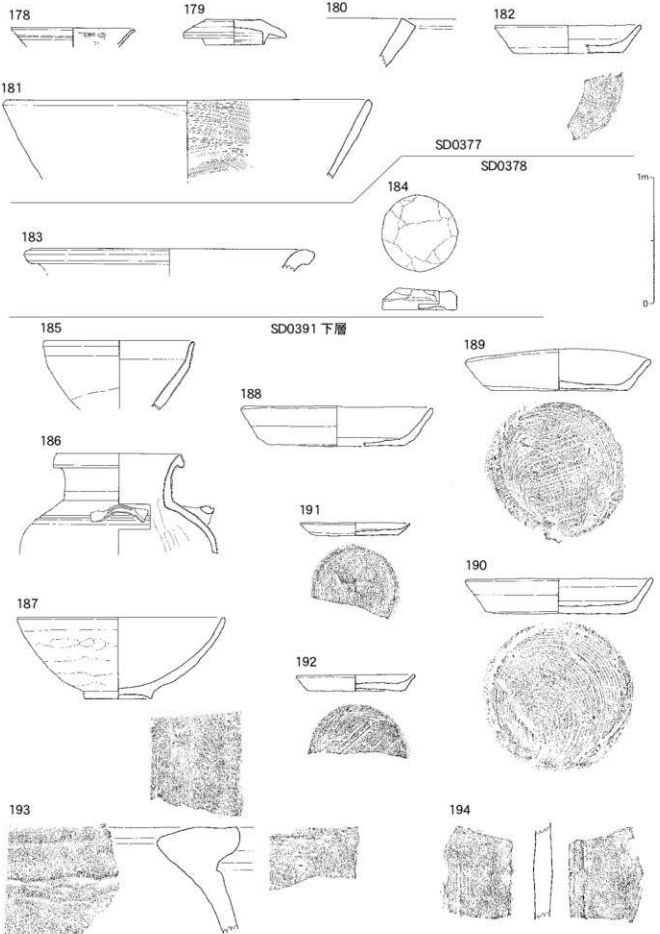
第27図　溝等遺構実測図(1/40)



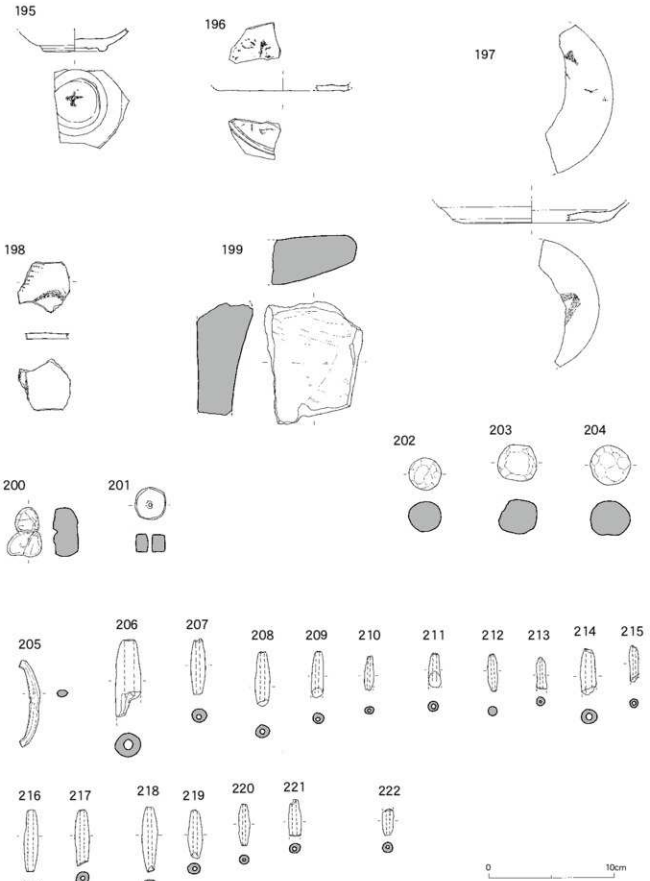
第 28 図　溝出土遺物実測図 1 (1/3)



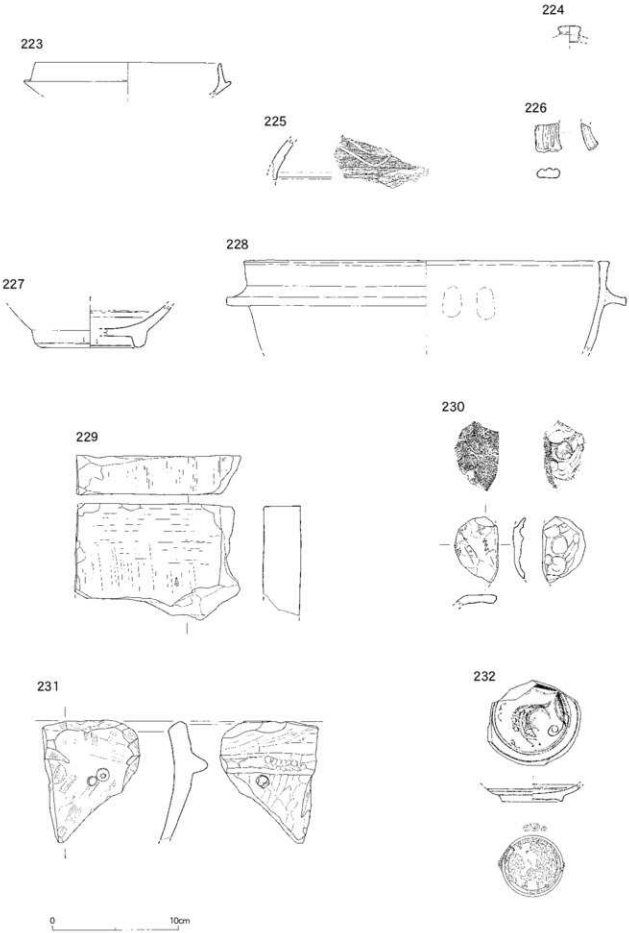
第 29 図　溝出土遺物実測図 2 (1/3)



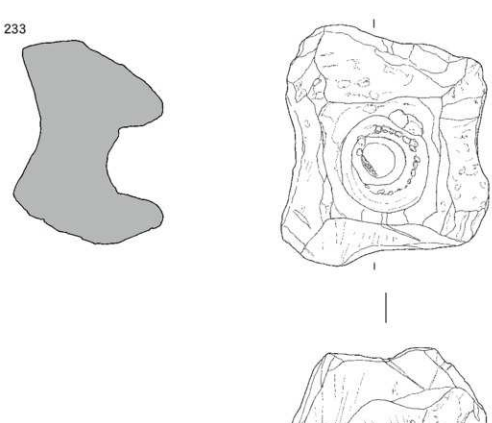
第 30 図　溝出土遺物実測図 3 (1/3)



第 31 図　その他の遺物実測図 1 (1/3)



第 32 図　その他の遺物実測図 2 (1/3)



第 33 図　その他の遺物実測図 3（1/3）

南北 1.5 m以上、東西 116cmを測る。底面は南側に片寄り、検出面からの深さ 80cmを測る。底面から 30cm上で土師質器台の脚部が出土した。器台は古墳時代のものと思われる。出土遺物(第 24 図 097 ～ 100)。097 は土師質擂鉢でる。灰白色で両面ナデを施す。098 は土師坏である。復元口径 17.2cm、器高 2.9cmを測る。底部はヘラ切り・板状圧痕である。099 は土師椀である。高台は細く立ち上がり、径 8.4cmを測る。100 は器台である。底径 12.2cmを測る。4 カ所に円形透かしがある。淡褐白色で胎土は砂を若干含む。調整はヘラミガキか。

SK0140（第 4 図）　Ⅰ区北端に位置する南北 2.7 ＋α、東西 1.9 mの長方形で北端が攪乱に切られる。深さ 3 ～ 5cmで、東縁に沿う溝(SD0168　幅 30cm、深さ 13cm)がある。13 世紀後半～ 14 世紀頃か。

SK0164（第 4 図）　Ⅰ区北端に位置し径約 4 mの半円形を呈す。西側を SD0185 に切られる。深さ 3cmと遺存状態が悪く詳細は不明である。染付小碗などが出土した。15 世紀頃と考えられる。

SK0175（第 22 図）　Ⅰ区大溝北に位置する。南北に長い楕円形で、南北両端を切られる。東西径 71cm、深さ 31cmを測る。白磁Ⅲ区類などが出土した。14 世紀頃と考えられる。

SK0180 Ⅰ区北端に位置し、北端が調査区外に伸びる。検出時に東西 1.47 ×南北 1.67 mの方形の掘込みを確認した。深さ 3cmと遺存状態が悪く詳細は不明である。14 世紀頃か。

SK0244（第 22 図）　Ⅱ区北東に位置する。平面は不整円形で南北径 172cm、深さ 53cmを測る。埋土は褐色土・灰色土を主とし、底面直上は泥状の堆積である。出土遺物(第 24 図 101 ～ 103)。101

は土師質鉢である。復元口径 35.4cmで浅黄橙色を呈す。内面はハケを施す。102 は土師質鉢である。復元口径 24.2cmを測る。外面は煤が付着、内面は横ハケで橙色を呈す。103 は土師皿復原口径 10.8cm、器高 2.8cmを測る。底部は糸切り・板状圧痕である。

SK0266（第 22 図） Ⅱ区北側に位置する。平面は南北に長い隅丸長方形で長径 117cm、短径 97cm、深さ 44cmを測る。龍泉窯系青磁、土鍋、鉄釘などが出土した。14 世紀頃と考えられる。

SK0407（第 25 図） Ⅱ区中央に位置する。平面は南北に長い楕円形で長径 183cm、深さ 69cmを測る。土層はレンズ状の堆積で数回の掘り直しがみられる。13 世紀後半～ 14 世紀と考えられる。出土遺物（第 25 図 113 ～ 118）。113 は陶器壺である。復元口径 13.6cmを測る。暗赤灰色を呈す。114 は土師質鉢である。復元口径 30.8cmを測る。外面は煤が付着、内面はヘラナデで浅黄橙色を呈す。115 は土師質鉢である。復元口径 33.8cmを測る。全面が剥落して調整は不明。黄橙色を呈す。116 は高台付土師皿で口径 8.3cm、器高 2.6cmを測る。外面全面にナデを施す。117・118 は土師坏である。117 は復元口径 12.8cm、器高 2.4cmを測り、底部は糸切り・板状圧痕である。118 は復元口径 12.0cm、器高 2.6cmを測る。底部は糸切り・板状圧痕である。

SK0429（第 25 図） Ⅱ区南端に位置し、大溝のうち SD0391 を切り、SD0377 に切られる。東西径 3.3 m、深さ 26cmを測る。埋土は黒灰色で炭化物片を多く含み、多量の遺物が出土した。廃棄土坑で 14 世紀中頃と考えられる。出土遺物（第 26 図 119 ～ 136）。119・120 は龍泉窯系青磁碗である。118 は復元口径 10.0cmを測る。釉は厚く明緑色を呈し、畳付のみ露胎である。120 は外面に細型連弁を施す。釉は厚く明緑灰色である。121 は陶器盤Ⅰ類で復元口径 21.8cm、器高 6.3cmを測る。122 は瓦質皿で復原口径 6.4cm、器高 2.2cmを測る。底部は指オサエである。123・124 は高台付土師坏である。123 は復元口径 19.8cm、器高 5.8cmを測る。底部は糸切りである。124 は高台のみで高台径 10.1cmを測る。底部は糸切りである。125 ～ 128 は土師坏で完形に近い。底部は糸切り・板状圧痕である。125 は口径 16.3cm、器高 2.9cm、126 は口径 13.3cm、器高 2.0cm、127 は口径 13.0cm、器高 2.4cm、128 は口径 12.7cm、器高 2.3cmを測る。129 ～ 131 は高台付土師皿で、129・130 は底部中央に穿孔を施す。129 は高台径 6.3cmを測る。130 は口径 8.7cm、器高 2.4cmを測る。底部は糸切りである。131 は口径 8.3cm、器高 2.3cmを測る。外面全面底部はナデを施す。132 ～ 134 は土師皿でいずれも糸切りである。132 は口径 8.3cm、器高 1.2cm、133 は口径 9.0cm、器高 1.0cm、134 は口径 9.0cm、器高 1.0cmを測る。135 は白磁Ⅲ区類である。復元口径 9.0cmを測る。口縁端のみが露胎である。136 は土師質鉢で復元口径 51.0cmを測る。淡橙褐色で外面は煤が付着する。

SK0027（第 23 図） Ⅰ区北端に位置し径 35cm、深さ 45cmを測る。土師坏が出土した。

SK0076（第 23 図） Ⅰ区北側に位置する。径 28cm、深さ 21cmを測る。土師坏・皿が出土した。出土遺物（第 24 図 105・106）。105 は口径 9.4cm、器高 1.4cmを測る。106 は口径 9.5cm、器高 1.0cmを測る。いずれも底部は回転糸切り・板状圧痕である。

SK0155（第 23 図） Ⅰ区大溝北側に位置する。長径 34cm、深さ 19cmを測る。土師坏が出土した（第 24 図 104）。104 は土師坏で口径 11.4cm、器高 2.5cmを測る。底部ヘラ状の圧痕がのこる。

SK0229（第 23 図） Ⅰ区北端に位置する。径 37cm、深さ 27cmを測る。土師坏片が出土した。

SK0264（第 23 図） Ⅱ区北側に位置し、平面は方形で径 64cm、深さ 4cmを測る。土師坏・皿が数点分出土したが、遺存状態が不良で接合できなかった。

SK0306（第 23 図） Ⅱ区中央に位置し、長径 40cm、深さ 26cmを測る。15 世紀と考えられる。出土遺物（第 24 図 107 ～ 112）。107 は龍泉窯系青磁碗で口縁に雷文、下に連弁を施す。釉はオリーブ灰色を呈す。108 は白磁皿で復元口径 9.8cm、器高 2.9cmを測る。胎土・釉は灰白色を呈す。109 は土師坏で復元口径 12.4cm、底部は糸切りである。110 ～ 112 は土師皿で、底部は糸切りである。110 は口径 7.2cm、器高 1.4cm、111 は口径 7.1cm、器高 1.3cm、112 は口径 7.3cm、器高 1.5cmを測る。

第 34 図　調査区全体図（1/100）

第35図　近代地図

5）溝

SD0016（第21図）　Ⅰ区南側に位置する。方位はN-14°-Wで大溝に直交する。長さ152cm、幅28cm、深さ5cmを測る。0017・0018も遺物は小片であるが11世紀後半～12世紀頃の可能性がある。

SD0017・0018（第21図）　SD0016の南側直線上に位置し、本来は同一遺構の可能性がある。全長183cm、幅26cmを測る。深さ4cmを測る。中央部が径25cmの柱穴状を呈し、深さ10cmを測る。

SD0110（第4図）　Ⅰ区大溝の南端に位置する。時代は近世である。

SD0146（第4図）　Ⅰ区大溝の北端に位置し幅1.7～2.3m、深さ60～80cmを測る。溝の切りあいが複雑で遺物が混入した可能性が高いが、大溝の中では古い方で12世紀代か。出土遺物（第28図137～152）。137～138は同安窯系青磁で137は口径16.3cm、138は口径15.9cmを測る。139・140は龍泉窯系青磁碗片である。141～143は青磁皿で口径10.0cmを測る。142は復元口径9.0cmで内底部にスタンプによる魚文を施す。外底部のみ露胎である。143は外底部の露胎部分に墨書を施す。144～146は白磁である。144は碗Ⅴ類で145は碗Ⅳ類か。146は皿で口径10.0cm、器高2.8cmを測る。外底部に墨書を施す。147～150は瓦器椀である。147は復元口径18.6cmを測る。148は高台は低く逆台形を呈す。149は高台は低く断面は方形である。150は高台は低く外底部に格子状の線刻を施す。151・152は瓦質皿である。151は口径9.8cm、器高2.0cmを測る。外底部はナデ。152は口径9.6cm、器高1.3cmで外底部は糸切り・板状圧痕である。

SD0201（第27図）　Ⅰ区大溝北端に位置する。SD0146の上層掘り直しで深さ約20cmを測る。13世紀前半頃である。出土遺物（第28・29図153～173）。153は龍泉窯系青磁碗Ⅰ類、154は同安窯系青磁碗である。155は青磁皿である。155は陶器皿で口径10.2cm、器高3.8cmを測る。釉は茶緑褐色を呈す。157は瓦質擂鉢である。復元口径23.4cmで灰色を呈す。内面は横ハケを施す。158は陶器鉢である。復元口径22.0cmで暗赤褐色を呈す。159は土師質擂鉢である。復元口径27.5cmで灰白色を呈す160は土師質擂鉢である。復元口径27.6cmを測る。161は土師質鉢口縁、162は陶器擂鉢である。163・164は土師坏である。163は復原口径16.6cm、器高2.5cmを測る。底部は糸切り・板状圧痕である。164は復元口径14.4cm、器高3.3cmを測る。底部は糸切り・板状圧痕である。165～168は土師皿である。165は口径9.4cm、器高1.5cmを測る。底部は糸切り・板状圧痕、166は復原口径9.6cm、器高1.2cmを測る。外底部は糸切りで全体に煤が付着する。167は復原口径8.6cm、器高1.2cmを測る。外底部は糸切り・板状圧痕で口縁端に煤が付着する。168は復元口径9.4cm、器高1.3cmを測る。底部は糸切り・板状圧痕である。169は高台付土師皿である。口径8.9cm、器高3.2cmを測る。外底部は糸切りである。170は土師質丸瓦で凸面は縄目圧痕の後ナデを施す。171は須恵質平瓦である。縄目圧痕の上からナデを施す。片面は丁寧なナデである。172は瓦質で脚か。173は土錘である。長さ3.3cm、径8.3㎜、重さ1.73gを測る。

SD0203・0185（第4図）　Ⅰ区北端に位置する南北方向の溝でSK0164を切る。幅1.0～1.3m、深さ16cmを測る。12世紀後半頃か

SD0219（第4図）　Ⅰ区大溝中央部に位置する。近世の溝である。

SD0220（第 27 図） Ⅰ区中央の大溝の南側に位置する。大溝に直交し北側を大溝に切られる。現状で長さ 116cm、幅 59cm、深さ 15cmを測る。遺物は青磁碗などが出土した。

SD0226（第 4 図） Ⅰ区大溝南端に位置する。中世の溝である。

SD0377（第 4 図） Ⅱ区南端に位置し、遺構の南半が調査区外である。Ⅰ区 SD0128 と同一溝か。出土遺物（第 29・30 図 174 ～ 182）。174 ～ 177 は上層から、178 ～ 182 は下層から出土した。174 は土師質鉢で復元口径 44.2cmを測る。にぶい橙色で全面が剥落している。175 は陶器擂鉢である。釉は赤褐色を呈す。176 は土師質鉢である。復元口径 29.7cmを測る。灰褐色で内面は横ハケを施す。177 は須恵質平瓦である。178 は白磁皿である。復元口径 9.8cmを測る。内面口縁に雷文を施す。179 は陶器蓋である。灰白色を呈す。180 は土師質鉢である。外面は煤が付着、内面は横ハケを施す。181 は土師質鉢である。復元口径 29.2cmを測る。外面はナデ、内面は横ハケで炭化物が付着する。182 は土師皿である。復元口径 11.6cm、器高 2.2cmを測る。外底部は糸切りである。

SD0378（第 4 図） Ⅱ区南東端に位置し、東端から 2 m程で南側に屈曲し SE0379 に切られる。幅 87cm、深さ 13cmを測る。14 ～ 15 世紀と考えられる。出土遺物（第 30 図 183・184）。183 は瓦質鉢の口縁端である。復元口径 22.8cmを測る。灰色で煤が付着する。184 は同安窯系青磁碗底部である。

SD0391（第 4 図） Ⅱ区南側に位置する。SD0146 と同一溝である。出土遺物（第 30 図 185 ～ 194）。185 は陶器碗で復元口径 12.0cmを測る。胎土は赤褐色で釉は茶褐色を呈す。186 は白磁四耳壺である。187 は瓦器椀で復原口径 16.5cmを測る。高台は低く断面三角形で黒褐色を呈す。188 ～ 190 は土師坏である。188 は復元口径 15.2cm、器高 3.1cmを測る。外底部は糸切り・板状圧痕である。188 は口径 14.8cm、器高 3.3cmを測る。底部は糸切り・板状圧痕である。190 は復原口径 14.9 cm、器高 2.9cmを測る。底部は糸切り・一部板状圧痕である。191・192 は土師皿である。191 は口径 8.7cm、器高 1.0cmを測る。外底部は糸切り・板状圧痕である。192 は口径 9.4cm、器高 1.3cmを測る。外底部は糸切り・板状圧痕である。193 は陶器大甕口縁である。釉は赤褐色である。194 は土師質丸瓦である。凸面は縄目圧痕の上からナデ、凹面は布目圧痕である。

6）その他の遺物（第 31 ～ 33 図 195 ～ 233） 遺物番号の横の括弧内が出土遺構

195 ～ 198 は墨書である。195 は白磁皿で外底部に「十」の墨書、175 は土師坏で内外面に墨書がみられる。197 は土師坏で内外面に墨書がある。198 は陶器盤で外底部に墨書がある。199 は砂岩製砥石で両面を砥面として使用する。200 は用途不明の滑石製品で重さ 30.8 gを測る。201 は滑石製有孔円盤で径 2.6cm、厚さ 1.5cmを測る。202 ～ 203 は球状石製品でいずれも砂岩製である。202 は径 2.5cm、203 は径 3.2cm、204 は 3.0cmを測る。205 は銅製品で両端を欠く。投網の錘と思われ、長さ 6.8cm、重さ　gを測る。206 ～ 222 は土錘である。223 は須恵器坏、224 は須恵器坏蓋、225 は須恵器大甕頸部で波状文を施す。226 は土師質で白磁四耳壺の模倣品である。227 は白磁で内面まで丁寧に施釉し、盤と思われる。228 は瓦質羽釜で復原口径 28.8cmを測る。229 は須恵質磚、230 は土製鋳型の一部である。なんの鋳型かは不明で表面に「七□」「月」の線刻とスタンプを施す。231 は滑石製石鍋で補修痕がある。232 は染付碗で内面に魚の模様を施し、高台内に砂が多く付着する。233 は砂岩製石製品である。根石として使用されていた。五輪塔の火輪か。天井径 7.5cm深さ 5cmの窪みは風輪の差し込み口と思われる。側面と下面を砥石として使用し、また側面には叩打痕も見られ、かなり変形している。また下面は被熱して煤が付着し、様々な用途に使用されている。

7）動物遺存体

本調査では SE0368 から出土した数点のカメの甲羅などがあるが、遺存状態が悪く現在分析中である。分析を終えて報告する機会を得たい。

4．小結

4 次調査では調査区中央の東西方向の溝とその両側に広がる中世の町を確認した。大溝は東西方向

で、最も古い 12 世紀頃のものから近代に及ぶ。一本の溝の幅は広いものでも、2.5 m程であるが、若干ズレながら何度も掘り直したため、全体では幅 10 mを測る。表土剥ぎ時に南側縁部分を 60cm程削平してしまったため、大溝の南端部については不明な点が残った。溝は 14 世紀頃に若干向きを変える。区画溝や掘立柱建物も方位を異にするものがあるが、溝の影響を受けたものと思われる。

近世以降の溝は大溝の中でも南側に偏るが、深さがそれ以前と比べて浅くなることから、近世になると盛土による嵩上げが行われたと推定され、近代作成の地図(第 35 図)にも水路の痕跡らしき地割りが描かれている。この大溝は西海道推定ラインの北側 60 mに位置しており(第 2 図)、西海道に伴う側溝などの可能性も考えたい。大溝の北側は溝に直交、また平行する溝によって区画されている。SX01・02 などの柵や塀、またそれに並ぶ掘立柱建物、そして北側に井戸が集中することから裏庭に井戸といった中世の町並みを復原することができる。もちろん塀や掘立柱建物、井戸には時期差があるが、同時期の博多遺跡群などにはみられない保存性の良さがあるため、これからの各遺構の時期の詳細な検討や周辺の調査の進展が望まれる。

表 1　遺構台帳 1

遺構番号	性格	時代	遺物	備考
0001	攪乱	現代	モルタル片、磁器皿(現代)、白磁碗片、須恵質鉢(13後～14C)、土錘、土師环・皿(糸小片)、土製品(人形か　近世以降)、砥石、寿理、	
0002	攪乱	中世	土師环(底部のみ　糸)	
0003	攪乱	現代	土器片(1点)	
0004	攪乱	現代	ビー玉、土師环(糸)	
0005	攪乱	現代	モルタル片	
0006	攪乱	近現代	磁器碗・皿	
0007	攪乱	現代	白磁碗Ⅳ・Ⅴ類、陶器大甕、瓦器椀(小片　内面丁寧なナデ)、土師碗、土師环(糸　小片多)、土師皿(糸)	
0008	攪乱	現代	モルタル、土師环(糸)、土器片	
0009	溝状遺構	不明	土師环・皿(糸　小片)	
0010	柱穴状遺構	中世	瓦質鉢(小片)、土師环・皿(糸)	
0011	柱穴状遺構	12～13世紀？	瓦器椀、土師环・皿(糸　小片)	
0012	柱穴状遺構	不明	土器片(3点)	
0013	柱穴状遺構	不明	土器片(2点)	
0014	柱穴状遺構	13世紀前半	龍泉窯系青磁碗Ⅱ類(小片)、土師碗片(1点)、土器片(1点)	
0015	柱穴状遺構	不明	土器片(1点)	
0016	溝	不明	土器片(1点)	区画溝
0017	溝	11世紀後～12世紀前	土師环(ヘラ・糸)、土師皿(ヘラ)	区画溝
0018	溝	不明	土器小片	区画溝
0019・0020	一段下げ		陶器鉢Ⅰ-1b、陶器瓶？、須恵質鉢(東播系)、瓦質甕、土師环・皿(糸)	
0019	土坑	13世紀後半～14世紀	陶器壺片(褐釉)、土師环(糸　小片)、皿(糸)	
0020	土坑	12世紀後半	白磁皿、須恵器鉢(東播系　胴部小片)、土錘？、土師环・皿(糸　小片)	
0021	溝状遺構	不明	土師碗片1(縁部小片)、土師皿(糸　小片)	
0022	柱穴状遺構	不明	土錘小片、土師环・皿片	
0023	柱穴状遺構	中世	白磁碗Ⅴ類、瓦器椀(1/3底部小片)、須恵器大甕(頚部に波状文)、土師环(糸　小片)、	
0024	柱穴状遺構	不明	土器片(2点)	
0025	柱穴状遺構	12世紀後～13世紀	白磁碗小片、瓦器椀片、土師环・皿(糸　小片)	
0026	柱穴状遺構		土師环(糸　摩滅)、土器片、	
0027	柱穴	12世紀前半？	土師皿(ヘラ？)	板石有り
0028	柱穴状遺構	中世	土師环・皿(糸　小片)	
0029	攪乱	現代	モルタル片(現代)、磁器茶碗(現代)、瓦(平　近現代？)、陶器壺？、土師环(糸)、土師皿(小片)、瓶取手、	
0030	柱穴状遺構	不明	土師环片、土師皿(糸　小片)	
0031	柱穴状遺構	不明	土師环(糸)．	
0032	柱穴状遺構	不明	土器片(1点)	
0033	柱穴状遺構		土師皿片？、土器片(弥生か　摩滅著しく不明)	
0034	柱穴状遺構	不明	土師皿？　(1点)	
0035	柱穴状遺構	不明	土師皿(糸　極小片1点)、土器片1点	
0036	柱穴状遺構	不明	土師环・皿片、鉄片	
0037	柱穴状遺構	不明	土師皿片	
0038	柱穴状遺構			
0039	柱穴状遺構	不明	土師环片	
0040	柱穴状遺構	12世紀頃？	土師环・皿(ヘラ？・糸　小片)	
0040周辺	一段下げ	中世	瓦器椀(小片)、土錘？、土師环(糸)、土師皿	

表2　遺構台帳2

遺構番号	性格	時代	遺物	備考
0041	柱穴状遺構	不明	土師坏・皿(糸)	
0042	柱穴状遺構	12世紀前半	瓦器椀(底部小片1点)、土師皿(糸)、土師坏(ヘラ？)	
0043	柱穴状遺構	不明	土師坏(糸　小片)、土師器片	
0044	柱穴状遺構	中世	瓦器椀(小片)、土師皿片、土器片、土師質瓦？片	
0045	柱穴状遺構	不明	白磁小片、土師坏・皿(糸　小片9	
0046	溝状遺構	12世紀中頃？	白磁椀細片(3点)、瓦器椀片(12C?)、土師椀、土師坏(ヘラ・糸)、土師皿(糸)	
0047	柱穴状遺構	不明	土器片(2点)	
0048	柱穴状遺構	12世紀前半？	土師坏(ヘラ・糸)、土師皿小片	
0049	柱穴状遺構	不明	土師坏(糸　小片3点)、滑石片(加工痕有り)	
0050	柱穴状遺構	不明	土器小片(3点　土師坏か)	
0051	柱穴状遺構	不明	高坏脚部？、瓦質片、	
0052	柱穴状遺構	12世紀	土師椀(底部)	
0053	柱穴状遺構	不明	土師皿(糸　底部小片)、土師坏(糸　底部小片)、鉄片	
0054	柱穴状遺構	古代末	土師坏(ヘラ？)、土師皿(ヘラ　小片)	
0055	土坑	11世紀末～12世紀初頭	瓦器椀、土師坏(糸・ヘラ)、土師皿(糸→ナデ？)	一段下げて消滅
0056	柱穴状遺構	不明	土師坏(糸　小片)、土師皿(小片)	
0057	柱穴状遺構	不明	土鍋？小片、土師坏(糸　小片)、	
0058	柱穴状遺構	不明	陶器壺小片、土師皿(糸　小片)、	
0059	柱穴状遺構	不明	土器小片	
0060	柱穴状遺構	中世	須恵質鉢(東播系　擂小片)、瓦質小片	
0061	不明	11世紀末～12世紀	龍泉窯系青磁椀Ⅰ類、白磁皿Ⅵ-Ⅸ類、白磁碗片、陶器壺片、須恵器坏(6C前)、土師椀(11C)、土師坏・皿(糸　小片多)、鉄片、	不整形で深さ約20cm
0062	柱穴状遺構	不明	土器小片(5点)	
0063	柱穴状遺構	11～12世紀前半	白磁椀Ⅴ類、平瓦(瓦質　小片1点)	
0064	撹乱	現代	モルタル片、酒瓶(磁器　近代)、磁器小椀(近代)、白磁椀(11C後半)、陶器壺(12C ？)、陶器鍋(近代)、土管(陶器管　近現代)、火鉢片(瓦質　小片)、七輪片、瓦器椀、土師椀、土師坏・皿(糸切り　小片のみ)、土師皿(高台付き)、瓦(瓦質　近現代)。	
0065	撹乱	現代	コンクリ片、磁器(酒瓶か)、磁器皿、白磁片、陶器片、七輪片、火鉢片、土師坏(糸)、土師皿(糸)、土師皿(高台付き)。	
0066	撹乱	現代	コンクリ片、土製人形片(近世～近代)、土製急須片(近現代)、陶器片、土鍋片、土師皿(糸)、鉄片、石灰片	
0067	撹乱	現代	コンクリート片、モルタル片、染付小椀(近世以降)、白磁壺底部片、白磁耳壺片(古代末)、陶器壺、白磁椀片、白磁皿Ⅵ類、七輪片、土師坏(糸切り)	
0068	撹乱	近現代	鋳型(近現代)、磁器皿(近現代)、土師急須(近現代)。	
0069	撹乱	現代	コンクリ片、鋳型(0068と同一か)。	
0070	土坑	12世紀頃？	白磁水注(小片)、白磁椀Ⅴ類、陶器片、瓦器椀、土師椀、土師坏・皿(糸切り　一部ヘラか　小片のみ)、土師坏・皿(糸)	一段下げて消滅
0071	撹乱	近代	染付小椀(近代)、白磁片、瓦器椀、土師椀、土師坏・皿(糸切り　一部ヘラか　小片のみ)	
0072	柱穴状遺構	不明	土器小片(2点)	
0073	柱穴状遺構	不明	土器小片(1点のみ)	
0074	柱穴状遺構	不明	土師坏(小片1点)、土器片(2点)	SE0075を切る
0075	井戸		白磁椀Ⅱ類、瓦器椀(12C ？)、陶器壺、土師椀？（内面丁寧なナデ　外底部押し出し)、土師坏(糸　胎土精良　密母片を多量に含むもの有り)、土師皿(ヘラ切り・　糸切り)、高台付き土師皿(雲母片多)、滑石製石鍋片(再加工痕有り)。	
0076	柱穴状遺構		土師皿(糸　土器小片)	土師瓦埋納遺構
0077	柱穴状遺構		土器小片のみ	
0078	柱穴状遺構	不明		
0079	柱穴状遺構	不明	土鍋片、土器小片	
0080	柱穴状遺構	不明	白磁合子(椀小片　1点)、土師皿(糸　椀小片)。	
0081	土坑	11世紀後半～12世紀初頭	白磁碗片、陶器盤片、陶器碗片、瓦質椀、土鍋(胴部小片)、土師質羽釜、土師坏(ヘラ切り　底部押し出し)、土師坏・皿(ヘラ切り・糸切り　いずれも小片)器台(古墳時代？)	
0082	柱穴状遺構	不明	土師皿(糸　小片1点)	
0083	撹乱	近現代	磁器壺(近現代)、磁器碗(近現代？)、土鍋(胴部下半小片)。	
0084	撹乱	現代	モルタル、タイル(現代)、磁器皿(現代)、白磁椀Ⅳ・Ⅴ類(底部)、須恵質鉢(東播系12C)、土師坏・皿(糸　小片)、瓦質平瓦	
0085	撹乱	現代	白磁片(1点)、瓦質平瓦(小片1点)	
0086	撹乱	現代	染付片、土師坏(糸　小片1点)、土師皿(糸　小片1点)、瓦質丸瓦、土鈴？	
0087	撹乱	現代	プラスチック、コンクリ片、白磁皿Ⅸ類、青磁椀小片、土師坏・皿(小片)、鉄片	
0088	撹乱	現代	土師皿(糸　小片1点)、土器片1点	
0089	撹乱	近現代	白磁椀片(1点)、土師坏(糸・ヘラ)、土師皿(糸　わずかにヘラ切り)	いずれも細片のみ
0090	柱穴状遺構	不明	土師坏・皿(小片5点　糸)	
0091	柱穴状遺構	11～12世紀前半	土師質？高台付き皿(小片1点のみ)。	

表３　遺構台帳３

遺構番号	性格	時代	遺物	備考
0092	柱穴状遺構	12世紀中～後	白磁椀片、白磁皿Ⅱ類、瓦器椀小片、土師皿(糸　小片多　一部胎土調整が良いものがある　雲母片を多く含む個体があるが調整がやや雑)、土師坏(糸　小片多　雲母片は土師皿と同じやや雑なものに多く含むものがある。)、高台付き土師皿	小片が多い
0093	土坑	不明	瓦器椀小片(1点)、土器小片(2点)	一段下げで消滅
0094	柱穴状遺構	不明	土器小片(2点)	
0095	溝状遺構	12C中頃	同安窯系青磁椀(小片1点)、白磁皿片、陶器甕小片(1点)、土師坏(小片　ヘラ切り)、土師皿(小片　ヘラ切り)、	
0096	柱穴状遺構		龍泉窯系青磁椀Ⅰ類、須恵器片、瓦器椀(12C前？　小片)、土師坏・皿(小片のみ)	
0097	柱穴 (SB02)		白磁細片(1点)、陶器片(鉢or壺)、土師坏・皿(糸　色は黄前・淡黄、橙色、があり色に関係なく雲母片を多量に含むものからほとんど含まないものまである)	根石有り　土器細片のみ
0098	柱穴	12世紀後半	龍泉窯系青磁椀Ⅰ類、土師坏(糸　一部ヘラか)、土師皿(糸　一部ヘラか)	根石有り
0099	柱穴 (SB02)	12世紀後半～13世紀	瓦器椀小片(1点)、土師椀？、土師坏(糸　小片)、土師皿(糸　小片)	根石有り
0100	攪乱	現代	モルタル片、白磁椀片、土師坏・皿(小片のみ)	
0101	柱穴状遺構	13世紀前半	陶器鉢Ⅰ-1b、土師坏・皿(糸・ヘラ　小片)	
0102	柱穴状遺構	不明	土師坏・皿(小片)	
0103	柱穴 (SB02)	12世紀代？	土師坏(ヘラ・糸　小片のみ)、土師椀(小片1点)、土師皿(小片)	根石有り
0104	柱穴	不明	土師坏・皿片(底部切り離しは不明なものが多い)、	根石有り
0105	柱穴状遺構	中世	土師坏・皿(糸　小片)	
0106	柱穴状遺構	不明	土器小片(2点)	
0107	柱穴状遺構	不明	土器片(1点)	
0108	柱穴	不明	高台付き土師坏(小片)、土器小片、五輪塔？（砂岩）	根石有り
0109・0115～0117	一段下げ		白磁片、瓦器椀片、土師質鉢、土師坏・皿(糸　小片)	
0109	柱穴状遺構	11世紀後半～12世紀	青白磁(貼口縁？)、白磁片、須恵質鉢(東播系)、瓦器椀片、土師坏(糸　小片多)、土師皿(糸・ヘラ　小片多)	
0110	溝	近世以降	陶器擂鉢(近世以降)、白磁椀類似(小片)、陶器耳壺、須恵器鉢、土師質鉢、高台付き土師坏小片、土師坏(糸　小片)、瓦質瓦(小片)	
0111	柱穴状遺構	不明	土器片(3点)	
0112	柱穴状遺構	不明	土師皿(糸　1/5残)	
0113	柱穴状遺構	不明	土師坏・皿(糸　小片のみ)	
0114	攪乱	現代	タイル(近現代)、磁器碗(近代)、陶器碗(近世～近代)、白磁壺(中世)、青磁片(中世？)、須恵質鉢(東播系　胴部小片)、土師器鍋、土師坏・皿(糸　小片)	
0115	柱穴状遺構	不明	白磁片、土鍋(小片)、土師坏・皿(小片)	
0116	柱穴状遺構	不明	土鍋(極小片)、土器小片	
0117	柱穴状遺構	14世紀頃？	龍泉窯系青磁椀Ⅱ類、白磁椀片、瓦器椀片、土師皿(糸　口径計測可3点、9.1cm　7.6cm　6.7cm)	
0118～0121	一段下げ		白磁片、陶器壺？片、土師坏・皿(糸　小片)	
0118	柱穴	中世	青磁片、白磁片、須恵器鉢片、瓦器椀片、土師坏(糸　小片)、土師皿(糸　小片)	根石有り
0119	柱穴状遺構			
0120	柱穴状遺構	中世	白磁椀Ⅳ類、土師椀小片、土鍋(胴部小片)、土師坏・皿(糸)	
0121	柱穴	中近世	土師坏・皿(小片　糸)	根石有り
0122	柱穴状遺構	不明	土師皿(糸　小片1点)	
0123	攪乱	現代	レンガ片、コンクリ片、タイル片、磁器大皿、陶器甕、土師皿小片、瓦(近現代)	
0124	柱穴状遺構	不明	土師皿(糸　小片)、	
0125	柱穴状遺構	不明	土師坏・皿(糸　小片のみ)	
0126	柱穴状遺構	中世	白磁椀小片(1点)、土師皿(糸)、滑石製石鍋片(小片)	
0127	攪乱	近代	磁器(茶碗、皿、花瓶等、湯呑　近代)、陶器(茶碗、甕、鉢、壺、瓶　近代)、埴(須恵質)、土師坏(糸　小片1点)	
0127	柱穴	不明		根石有り
0128	柱穴状遺構	不明	土器片(1点)	
0129	柱穴状遺構	不明	土器片(2点)	
0130	柱穴状遺構	不明	土器小片	
0131	柱穴状遺構	不明	土師坏(糸　小片1点)、	
0132	柱穴状遺構	不明	土器片(2点)	
0133	柱穴状遺構	不明	土師質鉢？	
0134	柱穴状遺構	中世	土師坏(糸　小片多　ほとんどが淡橙色で胎土精良　非常に細やかな雲母片含む)、土師皿(糸　小片多　胎土精良で器壁薄いものが多い　1点内底部に線刻)、瓦器椀(小片)	小片が多い
0135	トレンチ	現代	コンクリ片、磁器(碗、皿等)、陶器(花瓶、壺等)、龍泉窯系青磁束口碗Ⅰ-2類(12C後)、白磁皿類似、陶器壺Ⅱ類(13C後)、須恵器鉢(東播系)、土師質鉢、土師坏、土師皿、土師坏(糸)、土師皿(糸　器壁が薄く胎土・調整が良好なものを含む)	
0136	柱穴状遺構	不明	土師皿(小片2点　糸切り)	
0137	柱穴 (SB02)		白磁椀(12C前)、陶磁壺(13C？)、瓦器椀(小片)、土師坏(糸　小片のみ　実測不可)、土師皿(糸　胎土精良で器壁薄い)、土師質瓶取手	根石有り

表4　遺構台帳4

遺構番号	性格	時代	遺物	備考
0138	柱穴状遺構	不明	土師坏(糸　小片1点)、土師皿(糸　小片2点)	
0139	柱穴状遺構		土師坏(糸　小片　雲母片を多く含むものと本土含まないものに分かれる)、土師皿(糸　小片)	
0140	土坑(SK170と同一遺構)	13C後～14世紀	白磁碗Ⅳ類、白磁碗片、青白磁小片、陶器盤(13C後)、陶器壺(13C後)、陶器片(褐釉)、須恵質鉢小片、瓦器椀(小片)、瓦器皿(糸)、土鍋(13C)、土師椀、土師坏(糸　破片多)、土師皿(糸　破片多　1点口径計測可能　9.0cm)　、高台付き土師坏、高台付き土師皿、滑石片	約3m×2m　深さ2～4cm
0141	柱穴	12世紀後半？	白磁碗片、瓦器片、土師坏(糸　小片　雲母片多く含む)、土師皿(糸　小片)、高台付き土師皿(糸　小片1点)、鉄釘	根石有り
0142	柱穴状遺構	不明	陶器小片(褐色釉)、瓦器小片、土師坏・皿(小片　糸)	
0143	柱穴状遺構	不明	土師坏(糸　小片3点)	
0144	柱穴状遺構	15世紀？	青磁碗(口縁雷文　極小片　1点　15C)、土器小片、黒曜石片	
0145	不整形土坑	中世	白磁片、瓦器椀(小片)、土師坏(糸　小片多)、高台付き土師坏、土師皿(糸　小片多)	深さ2cm　一段下げで消滅
0146	溝	12世紀後半	龍泉窯系青磁碗Ⅰ類、青磁壺(頸部小片)、同安窯系青磁碗、白磁椀Ⅳ・Ⅴ・Ⅷ類、陶器盤Ⅰ類？、陶器鉢(Ⅰ-Ⅰb　1点、その他小片多)、陶器瓶、須恵器大甕(小片多)、須恵器瓶片、瓦器椀(小片多　13C？)、瓦質皿(ヘラ)、土師坏(糸切り-多量パンケース4箱　50点以上　径が分かるもの[15.8、14.9、16.7、15.6、15.7、15.5、15.1、15.6、14.9、15.9、14.8、]、高台付き土師坏、土師皿(糸　破片パンケース3箱　須恵質平瓦(縄目・布、ナデ・布)、滑石製石鍋片、土鍋炉壁、叩石？	パンケース10箱
0146上層		12世紀	白磁皿(11C後～12C前)、白磁蓋？、白磁合子蓋片、陶器壺片、陶器鉢片、須恵器壺？、瓦器椀小片、土師椀、土師坏(破片多　糸切り)、土師皿(破片多　糸切り)、須恵質平瓦(ナデ・布目圧痕)、	
0146西側下層		12世紀中頃	龍泉窯系青磁碗、同安窯系青磁碗、白磁碗Ⅳ類、白磁壺胴部、陶器盤(Ⅰ-Ⅰ類　11C後)、陶器鉢Ⅰ-Ⅰb(12C中)、陶器耳壺(12C中)、瓦器椀・皿(小片)、土鍋、土師坏片(多量　糸切り　板圧痕　胎土・調整・焼成とも良好なものが多い　口縁部が少なく実測不可)、移動式竈(小片　下端部)、滑石製石鍋片(大型縦耳タイプ　11C　胴部下半はスが多い　再加工痕あり)、須恵質平瓦、鉄片、	パンケース2箱
0146東側			龍泉窯系青磁碗Ⅰ類、同安窯系青磁碗、白磁碗Ⅴ類、白磁合子蓋、白磁碗(墨書？11C後半)、陶器鉢(中国)、陶器大甕、須恵器坏蓋(6C)、土鍋？、瓦器椀、土師質高台付き坏、土師坏、滑石製石鍋片、砥石(砂岩)	パンケース1箱
0147	柱穴	12世紀？	白磁碗Ⅳ類、白磁片、土師坏(糸)、滑石片	根石有り
0148	柱穴状遺構	不明	土師碗？、土鍋片？、	
0149	柱穴状遺構	14世紀	白磁碗Ⅸ類、土鍋小片、土師坏・皿(糸)、鉄滓	
0150	柱穴状遺構	12～13世紀？	白磁片、陶器片(茶褐釉)、瓦器皿(糸　小片)、土鍋、土師坏・皿(糸)	
149・150		不明	土師質鉢、土師坏・皿(糸)、鉄釘	
0151	柱穴状遺構	中世	土鍋(胴部小片)、土師坏・皿(糸)	
0152	柱穴状遺構	近世～近代(？)	白磁片(近世～近代？)、土師坏(糸　小片1点)、	
0153	柱穴(SB02)	12世紀代？	白磁碗Ⅱ類(小片)、瓦器椀、土師坏・皿(糸　小片)	根石有り
0154	柱穴状遺構	不明	土師皿(糸　小片1点)	
0155	柱穴状遺構	12～13世紀？	龍泉窯系青磁碗Ⅰ類、白人片、土鍋小片、土師坏(1点完形近く復元　外底面に何らかの圧痕　拓本用に抽出)、土師皿(糸)、	
0156	柱穴状遺構	12世紀前半	白磁皿、陶器皿？、瓦器椀、瓦質鉢(12C前)、土師坏(糸　破片多量)、土師皿(糸　破片多)	
0157	柱穴	不明	土師坏(糸　小片)、土師皿(糸　小片)	根石有り
0158	柱穴状遺構	12世紀？	土師椀片(1点)	
0159	柱穴(SB02)	不明	土師坏(糸　胎土精良)、土師皿(糸)	根石有り　土器小片のみ
0160	柱穴状遺構	不明	土器小片(1点)	
0161	柱穴状遺構	不明	土師坏(小片　2点)	
0162	柱穴状遺構	12C後半	瓦器椀(12C後)、土師坏・皿(糸　小片)	
0163	柱穴状遺構	不明	白磁碗(小片12C前)、土師坏・皿(糸　小片)	
0164	土坑	15世紀	染付小碗、龍泉窯系青磁碗Ⅱ類、同安窯系青磁片、白磁碗Ⅳ・Ⅴ・Ⅷ類、陶器盤、陶器甕？、須恵質鉢、瓦質火釜？(14C末～15C)、瓦質椀小片、土師質盤？、土師質火鉢？、土師質鉢、土鍋(小片)、土師坏・皿(糸　破片多いが小片のみ)、土師質瓦片(平or塼か)	平面形は円形で直径3m強　深さ3cm
0165	土坑	中世	瓦質鉢(胴部小片)、土師坏・皿(糸　小片)	
0166	柱穴(SB02)	不明	陶器大甕(胴部小片)、瓦器椀(胴部小片　内面丁寧な磨き)、土師坏・皿(糸)	根石有り
0167	柱穴	不明	土器片	根石有り
0168	溝	12世紀後半	同安窯系青磁碗(細片)、白磁碗Ⅴ類、白磁皿Ⅷ類(12C後半)、瓦器椀、土師坏(ヘラ・糸　小片多)、	細片
0169	柱穴状遺構	12世紀？	白磁碗(12C)、土師坏(糸　小片)	
0170	土坑(SK140と同一遺構)	12世紀後半～13世紀	白磁碗Ⅴ類、須恵質鉢(東播系　12C後)、土鍋(胴部小片)、土師坏(糸　小片)、土師皿(糸小片　胎土精良で器壁薄い破片有り)	約3m×2m　深さ2～4cm　一段下げで消滅
0171	溝状遺構	中世	土師坏片(糸　小片)	
0172	溝		土師坏(糸　小片)、土師皿(糸　小片)	

表5　遺構台帳5

遺構番号	性格	時代	遺物	備考
0173	攪乱	近代	陶器椀(近世以降)、陶器耳壺(胴部小片)、青磁片、白磁椀片、須恵質鉢(東播系)、瓦質鉢(羽釜？14世紀)、瓦器椀、土師坏(糸　小片多)、土師皿(糸)	
0174	柱穴状遺構	14世紀	龍泉窯系青磁坏Ⅱ類(14C)、白磁皿、陶器盤、須恵器大甕、瓦器椀細片、土師坏(糸　破片多)、土師皿(糸　破片多)、滑石片(3点　2点は石鍋片でそのうち1点は再加工痕有り要実測)	
0175	土坑	14世紀頃	白磁椀片、白磁皿Ⅸ類、陶器壺(胴部小片　2点)、瓦器椀小片、土錘片、土師坏(糸　破片多、1点完形復元品口径12.5cm)、土師皿(糸　破片多)、土錘(1点)	
0176	柱穴状遺構	12後半～13世紀？	青磁椀、土師質鉢(胴部小片)、土師坏(糸)、土師皿(糸　小片)	
0177	柱穴状遺構	不明	土師皿(糸　細片)	
0178	柱穴状遺構	不明	瓦器片(小片1点)、土師皿(小片1点)	
0179	柱穴状遺構			
0180	土坑	14世紀	龍泉窯系青磁椀Ⅱ類、白磁椀Ⅴ類、白磁皿Ⅸ類、白磁小片、陶器壺(褐釉　胴部小片)、陶器壺口縁(13C)、須恵質鉢？小片、土錘、土師皿、土師坏(糸　小片多)、土師皿(糸　小片多)	土師坏・皿は小片
0181	柱穴状遺構	中世	瓦器椀(小片1点)、土錘、土師坏・皿(糸　小片)	
0182	柱穴状遺構	不明	土師坏・皿(糸　小片多)	
0183	柱穴状遺構	12世紀	土師坏(ヘラ？　小片のみ)、土師皿(糸・ヘラ？　小片)	
0184	柱穴状遺構	14世紀以降	青磁小椀片(小片1点　14世紀)、白釉陶器椀(極小片)、土器細片	
0185	溝	12世紀中～後	陶器壺、陶器鉢Ⅰ-1b、陶器小盤Ⅰ-2b、須恵器片、土師坏・皿(糸　小片)	
0186	柱穴	中世	白磁椀片、土師坏・皿(糸　小片)、鉄釘？(1点)	根石有り
0187	柱穴状遺構			
0188	柱穴状遺構	不明	土器小片	
0189	土坑	14世紀	白磁皿Ⅸ類、土錘(胴部小片)、瓦器椀、土師坏(糸　小片)、土師皿(糸　小片多)、瓦質平瓦(瓦頭部か)、滑石製石鍋片(再加工痕有り)、	
0190	柱穴状遺構	中世	白磁小片、土錘(胴部小片)、土師坏・皿(糸　小片)	
0191	柱穴状遺構	不明	土器小片(5点)	
0192	包含層？	12世紀後半か	白磁椀Ⅳ類、白磁椀片、瓦器椀、土師椀、土師坏(糸)、土師皿(糸)	
0193	柱穴	不明	土師坏・皿片(糸？)	根石有り
0194	柱穴状遺構	中世	瓦器椀(小片)、土師坏(糸)、土師皿(糸)	
0195	攪乱	現代	タイル(現代)、瓦器椀(極小片)、土師坏・皿(小片)	
0196	柱穴状遺構	不明	土器小片(1点)	
0197	不整形土坑	不明	土器小片(2点)	深さ2cm
0198	柱穴状遺構	中世	瓦器椀(小片　内面磨き丁寧)、土師坏(糸　小片　5点　1点は雲母小片を多量に含む)	
0199	柱穴状遺構	不明	土師椀(小片1点)、土師皿(糸　小片1点)	
0200	柱穴状遺構			
0201上層 明黄褐色土	溝	13世紀前半	龍泉窯系青磁椀Ⅰ類、同安窯系青磁椀、青白磁椀、青白磁皿、白磁椀Ⅳ・Ⅴ・壜・双耳、白磁皿、白磁壺、陶器皿、陶器盤(13C前)、陶器小盤Ⅰ類(12C前)、陶器鉢Ⅰ-1b(13C前)、陶器擂鉢、陶器大甕、陶器耳壺、瓦質擂鉢、瓦質皿の足？(三足か)、瓦器椀(ヘラ切り　押し出し)、土錘(13C前)、土師坏(糸　破片多量)、土師皿(糸・1点ヘラ　破片多量)、土錘(1点)、須恵質瓦(摩手　縄目・布目)、土師質平瓦、瓦質瓦(丸・平)、鉱石、鉄片(3点　内2点は釘)、	SD01-06上層の浅い溝
0201	溝	13世紀前半	白磁椀Ⅴ・Ⅷ類、白磁片、瓦器椀(小片　12C末、13C前)、土師器盤、土師坏(糸　破片多　1点は径計測可15.4cm胎土精良　調整やや粗い)、高台付き土師皿、土師皿(糸・わずかにヘラ切り痕有り)、胎土精良なもの有り)、鉱石(砂岩)、石玉(砂岩)、滑石製石鍋片(3点　うち2点に再加工の痕跡あり)、不明石製品(滑石)、鉄片(釘？)	SD01-06上層の浅い溝
0202	中央部溝すべての総称			
0203	溝		青磁椀片、白磁椀(12C前)、白磁椀、陶器鉢、須恵器椀？、土師(胴部小片)、手尽くね土器、瓦器椀(小片)、土師坏(糸　小片多)、土師皿(糸　小片)、瓦質瓦(丸　小片2点)、	深さ2cm
0204	柱穴状遺構	不明	土師皿(糸　小片3点)	
0205	柱穴状遺構	11世紀後～12世紀前	白磁椀Ⅳ類小片、土器片	
0206	柱穴状遺構	中世	土師坏(糸　小片　雲母粉末を多く含む)、土師皿(糸　胎土精良)	
0207	柱穴状遺構	不明	須恵器片、土師坏・皿片(小片)	
0208	柱穴	中世	陶器盤片、瓦器片、土師坏・皿(糸　小片)	根石有り
0209	柱穴状遺構	不明	瓦器小片、土師坏・皿(糸　小片)	
0210	柱穴状遺構	11世紀後～12世紀前	白磁椀Ⅳ類、陶器盤、瓦質椀(小片)、土師坏・皿(糸・ヘラ　小片)	
0211	柱穴状遺構	中世	瓦器椀(小片)、土器小片(1点)	
0212	柱穴状遺構	11世紀後～12世紀前	白磁椀片(1点)、土師皿(糸　底部片　胎土精良　調整良好)	
0213	柱穴状遺構	中世	瓦器椀(小片1点)、土師坏(糸　小片)、土師皿(糸　小片)	
0214	柱穴状遺構	不明	瓦器小片、土器片	
0215	柱穴状遺構	不明	土師坏・皿(小片)	
0216	攪乱	現代	陶器壺(胴部小片　茶褐釉)、土師質鉢(12C中？)、土師質擂鉢、土師坏(ヘラ)、土師皿(糸)	SD02切を切る
0217	近代井戸	近世後半～近代	磁器片(皿、碗、近世～近代)、陶器片(碗、壺等　近世後半～近代)、龍泉窯系青磁椀Ⅱ類、白磁椀片、陶器壺(13C)、陶器鉢(1-1b)、瓦質擂鉢(中世)、瓦質鉢(時期不明)、瓦質井戸枠？、七輪、土製人形(仏像？)、器台(古墳時代？)、瓦質瓦(小片多)ガラス瓶、石版片、鉱石(細かな修岩)	

表6　遺構台帳6

遺構番号	性格	時代	遺物	備考
0218	溝(SD0202の南側数条の一段下げ)	近世？	青白磁？碗と皿(産地時期不明)、白磁碗(Ⅳ－嚢類)、白磁皿Ⅸ類、朝鮮象嵌青磁、黒釉磁器碗、陶器片(近世？)、青花小碗？、陶器鉢Ⅰ－1ｂ(13C前)、陶器碗(朝鮮)、陶器壺(小片)、陶器坏(赤切り)、大甕(厚美？)、土師皿・坏(赤切り　破片多)、台付き土師皿、瓶取手、瓦(破片多　丸・平　須恵質・土師質・瓦質　土師と瓦質はナデ、土師質はナデor縄目圧痕　須恵は平ﾛｸﾛ薄手　押圧波状文に伴うタイプ)、木炭？、滑石片、黒曜石、鍛石(砂岩)	土師皿は小片ばかり
0218A	溝(SD0202の南側数条の一段下げ)	16C～近世後半	白磁碗Ⅴ類・嚢類、白磁皿(16C)、龍泉窯系鉄釉碗Ⅰ類、陶器鉢Ⅰ－1ｂ(13C前)、陶器板小片、陶器碗(小片　免成)、須恵器甕(小片)、須恵質鉢(小片　東播系？)、瓦器椀(底部の一部のみ　粘土積良)、土錘？、土師質甕、甕片(古墳～古代？)、土師椀(小片)、土師坏・皿(赤　小片多)、鉄片？(鉄滓か)、銅製壁？、平瓦(土師・ナデでやや厚みがある。須恵質　薄手で縄目と布圧痕、小片)、甕焙(焼締器？小片)、	
0218A　攪乱含む	溝(SD0202の南側数条の一段下げ)		龍泉窯系青磁碗Ⅱ類、白磁碗片、白磁合子身、陶器片(壺？)、瓦器椀、土錘、土師坏(赤)、土師皿(赤)、滑石片、	
0218B	溝(SD0202の南側数条の一段下げ)		平瓦(瓦質・土師質　いずれもナデ)、土師皿(小片)	
0219	溝	近世	モルタル・コンクリ(上層攪乱からの混入か)、染付小碗(近世)、陶器小碗(近世)、龍泉窯系青磁碗Ⅰ-Ⅱ類、同安窯系青磁皿、白磁碗嚢類、白磁輪花皿、白磁壺、高麗陶器碗、陶器片(鉢、甕、大甕？　茶褐釉が多い　近世か)、須恵器高台付き坏(7世紀？)、瓦質燈籠、瓦器椀、火鉢(小片　脚部)、土師質鉢、土錘、土師皿(赤切り　小片多　雲母片、赤小粒含むもの多)、丸瓦玉頭(巴文　近世)、丸瓦(瓦質　ナデ)、平瓦(瓦質・わずかに土師)、瓦玉(瓦質)、鍛石？　(1点　抉り入り)、鉄釘片、甕(弥生時代中期　口縁小片)、鍛石(泥岩)、不明土製品(瓦か　厚さ3.2)	
218・219	一段下げ		染付碗(近世以降)、陶器杯(近世)、陶器小碗(近世)、白釉陶器皿(不明)、同安窯系青磁碗、白磁碗Ⅳ類、陶器壺(不明)、陶器捏ﾄ鉢(16世紀以降)、陶器甕、須恵器甕(古墳？)、須恵器坏(6世紀)、土錘、土師質燈籠、土師質鉢、土師皿(赤切り)、土師坏(赤切り)、土師皿(小片)、軒丸瓦(1点　瓦質　巴文)、平瓦(瓦質、土師質　ナデ)、土器片(1点弥生土器？)、砂噛片(1面だけが滑く使ｳﾃｽﾞている)、モルタル片、	
0220	土坑(溝？)	不明	青磁碗片、瓦器椀小片、土師質鉢(12C)、土錘、土師皿(赤　小片)、土器小片、滑石片	
0221	溝	近現代	コンクリ片、不明(現代)染付小碗(近世～現代)、白磁壺(近世～現代)、白磁碗Ⅳ類、白磁碗片、土錘？、瓦質平瓦(小片1)、鍛石片？　(泥岩)、土師坏(赤　小片)、滑石石鏃片	攪乱に切られており、染付は混入の可能性もあり。土師坏は小片で実測不可
0222	井戸周辺倒み	14世紀	モルタル片(混入)、陶器壺(小片　数個体)、陶器鉢、白磁碗Ⅴ-嚢類、陶器壺、陶器大甕、陶器鉢Ⅰ－1ｂ、瓦質鉢片、土師椀、土師坏(赤・ヘラ　小片)、土師皿(赤　多・ヘラ)	現代攪乱に切られる
0223	井戸	14世紀	龍泉窯系青磁碗Ⅱ類、白磁皿Ⅸ類、陶器壺、陶器鉢、陶器壺、須恵器大甕、高台付き土師坏、高台付き土師皿(多)、土師坏片(赤　破片多いが口縁部が複合せず)、土師皿(赤)、須恵質平瓦	
0224	柱穴	中世	青磁碗片、陶器壺、瓦器椀片、土師坏(赤　小片で複合不可)、土師皿(赤　15枚前後)	根石有り
0225	柱穴	不明	土器小片	根石有り
0226	溝	中世	龍泉窯系青磁碗片、白磁片、土師坏・皿(赤・ヘラ？　小片)、高台付き土師皿、平瓦片、	小片
0227	柱穴(SD01)			溝中で根石のみ確認
0228	柱穴状遺構	不明	白磁片、土師坏・皿片(小片)、土錘(1点)	
0229	柱穴状遺構	12～13世紀？	土師坏(赤　約1/2残ってそれが細片化している　径約15cm　器高2.5cm)	
0230		不明	土師坏(赤　小片1点)、	
0231	攪乱	現代	モルタル、龍泉窯系青磁碗(14後～15C)、同安窯系青磁碗片、陶器片(黒釉　壺？)、土錘(13C頃)、土師質燈籠、土師質鉢(12C？)、土師坏(赤)	
0232	攪乱	現代	コンクリ片、陶器椀(近現代)、白磁碗Ⅴ類、陶器土管、土師坏片、須恵器坏蓋	
0233	井戸	13～14世紀	天目碗小片、白磁碗Ⅳ・Ⅴ類・嚢類、白磁片多、陶器壺、陶器鉢Ⅰ-1ｂ、陶器鉢、須恵器鉢Ⅰ-1ｂ(13C)、須恵質鉢(12C、13C)、瓦器椀(小片)、高台付き土師坏、土師坏(赤多・ヘラ少)、土師皿(赤)滑石製石鍋片(2点)、土師質瓦(縄目圧痕)、高坏(古墳前期)、鉄釘(1点)	
0234	柱穴状遺構	中世		0233を切る
0235	柱穴状遺構	不明	白磁板？、土器片	
0236	井戸	11末～12前半	白磁碗Ⅳ類、白磁皿Ⅳ類、白磁嚢、陶器壺？、須恵質鉢(12C)、瓦器椀、土師椀、土師坏(赤・ヘラ　多)、土師皿(赤・ヘラ　多)、高台付き土師坏、高台付き土師皿、滑石石鏃片(10点　3点に再加工の痕跡有り)	土師坏・皿は小片
0237	溝	不明	土師坏片(赤　小片)	区画溝
0238	溝？			一段下げで消滅
0239	攪乱	現代	土師質片口鉢胴、土錘、高台付き土師坏(2/3残　1点)、土師皿(赤　完形1点　口径7.0cm　器高1.5cm)、	

表7　遺構台帳 7

遺構番号	性格	時代	遺物	備考
0240・0241・0242	一段下げ		白磁椀片、須恵器片、瓦器椀片、土師环(糸　小片)、土師皿(糸　小片)	
0240	土坑	不明	土器片(1点)	
0241	土坑		須恵器片(甕？)、瓦器片、土師皿片(糸　小片1点))	
0242・0356	一段下げ		ガラス(現代)、土師椀片、土鍋、土師質鉢、土器片	
0242	土坑	不明	瓦器椀(小片)、土器小片	
0243	柱穴状遺構	不明	土師环・皿(糸　小片)	
0244	井戸	12世紀？	白磁椀片、陶器片(大甕、鉢？)、瓦質鉢(12C)、土鍋、土師質鉢、土師質錯鉢(小片数個体)、土師質甕、土師环(少)、土師皿(少)、砂甲、瓶取手、	
0245	溝状遺構(屋・壁立建物？)	14世紀以降	龍泉窯系青磁椀Ⅱ類(13C前)、同安窯系青磁椀、白磁椀Ⅴ類、白磁皿Ⅸ類、陶器盤(小片)、陶器片(茶褐釉　壺？)、陶器大甕片、須恵質鉢(東播系　12C末前後)、須恵器壺？、須恵器坏蓋(7～8C)、瓦器椀(小片)、瓦質釜(14C前後？)、土鍋、土師环(糸　小片多、ヘラをわずかに含む)、土師皿(糸　小片多)、高台付き土師皿、土器小片、黒曜石片	遺物量は多いが、小片
0245一段下げ	溝状遺構(屋・壁立建物？)	15世紀？	青磁椀(底部片　13～14C)、瓦器椀(小片)、土鍋(15C ？)、土師質錯鉢、土師环・皿(糸小片)	
0245・0323	一段下げ		白磁片、瓦器椀？、土鍋(小片)、土師环・皿(小片)、須恵質平瓦(縄目・布目)、鉄釘(日本)、鉄滓、	
0246	柱穴状遺構	不明	土師环(1)縁部片　1点)、	
0247	井戸	11世紀後半	白磁椀Ⅳ・Ⅴ類、白磁壺？、陶器片、瓦器椀片、土師环(ヘラ)、土師皿(ヘラ)、土師椀片、土器小片、滑石製石鍋片	
0247？		11後半～12世紀？	瓦器椀(11C後)、土師皿(ヘラ・糸)	
0248	井戸	16世紀中頃	朝鮮陶磁(高台付き皿、壺(1縁)、染付皿(16C中)、龍泉窯系青磁椀Ⅱ類、青磁椀片、同安窯系青磁椀・皿片、白磁椀片、白磁小椀片、白磁皿Ⅸ類、陶器小盤Ⅰ類、陶器大甕、瓦器椀、土師質火鉢(15C ？)、土鍋(15～16C ？)、土師質鉢？、土師質錯鉢、土師質鉢、土師环(糸)、土師皿(糸)、高台付き土師环)、土師質丸瓦、瓦質瓦(丸・平)、石鍋片、砥き石	
0249	柱穴状遺構	不明	陶器片(壺？1点)、土器片(小片1点)	
0250	柱穴状遺構	中世	瓦器椀(小片1点)、土師皿(糸　底部片1点)	
0251	柱穴状遺構	古代末～中世	龍泉窯系青磁皿、瓦器椀片(1点)、土器小片	
0252	柱穴状遺構	不明	土器小片(1点)	一段下げで消滅
0253	柱穴状遺構	不明	土師环片(糸　底部小片)	
0254	土坑	14世紀	青磁椀片、瓦器椀、土鍋(14C)、土師質鉢、土師环(糸)、土師皿(糸)、	
0255	柱穴状遺構	14世紀～16世紀頃	土師皿(糸　径6.0cm前後)、土器小片	
0256	柱穴状遺構	中世	白磁皿(12C)、土鍋(小片1点)、土師皿(糸　底部片1点)、	
0257	柱穴状遺構	不明	土師环・皿(糸　小片)	
0258	攪乱	現代	タイル(現代)、モルタル片、白磁椀Ⅺ類(11C中)、瓦器椀、土鍋(胴部小片)、土師环(糸)	
0259	柱穴状遺構	13世紀以降	青磁环(小片　13C)、土師皿(糸・ヘラ)、土器小片	
0260	壁立建物	不明	土器小片(2点)	
0261	柱穴状遺構	不明	土師环(糸・小片)	
0262	柱穴状遺構	中世	瓦器椀(小片)、土師环・皿(糸　小片)	
0263	柱穴状遺構	不明	土師环(糸　底部小片)	
0264～0266	一段下げ	中世	龍泉窯系青磁椀Ⅰ類、瓦器椀、土師質鉢(胴部片)、土師环(糸　小片)、土師皿(糸　小片　多)	
0264	土師环・皿出土土坑	不明	土師环・皿(小片)	
0265	一段下げで消滅	12～13世紀頃	須恵器大甕(胴部片　格子・青海波紋)、土師質鉢(胴部片)、土師环(糸)、土師皿(糸小片多)、滑石製石鍋片(12世紀前後)、	
0266	土坑	14世紀前後	龍泉窯系青磁椀(細小片1点　12～14C)、須恵質鉢、瓦質鉢、土鍋(中世後半？)、土師环(糸　小片)、土師皿(糸　小片　破片多)、鉄釘？	
0267	柱穴状遺構	中世	白磁皿(小片　1点)、瓦器椀(小片　1点)、土師环・皿(糸　小片)	
0268	柱穴状遺構	中世	瓦器椀(小片1点)、土師环・皿(小片)、土器小片)	SD0245に切られる
0269	柱穴状遺構	14世紀以降	白磁皿Ⅸ類、陶器小盤Ⅰ類(12C前)、陶器甕(小片　雲渦)、陶器片(緑色釉)、須恵器片、瓦器椀、土鍋(胴部小片)、土師环・皿(糸・ヘラ？　小片)、土器片、須恵質平瓦(縄目・布目)、滑石片、	SD0245の中にうっすらと見えた柱穴状遺構
0270	柱穴状遺構		土器小片(1点)	
0271	柱穴状遺構	不明	土師环・皿(糸　小片)	
0272	柱穴状遺構	不明	土師皿(小片　1点)、	
0273	柱穴	中世	土師皿(糸　1点は完形近く復元　径9.2cm、器高7mm)、瓦器片、土器小片	根石有　0276を切る
0274	柱穴状遺構	11～12世紀？	白磁椀(小片　1点)、土器小片)	
0275	柱穴状遺構	不明	土器小片(2点)	
0276	壁立ち建物	不明	土師椀(極小片　1点)、土師环(糸　底部小片1点)	
0277	柱穴状遺構	不明	土器小片(1点)	

表8　遺構台帳8

遺構番号	性格	時代	遺物	備考
0278	柱穴状遺構	14～15世紀？	須恵器大甕片、須恵質鉢(12～13C？)、瓦質土器(茶釜or火鉢？　14～15C)、土錘、土師質鉢、土師皿？、土師坏(糸　小片)、土師甕(糸　小片)、土器片	
0279	柱穴状遺構	中世	瓦器椀(小片)、土師坏・甕(糸　小片)、土器片	
0280	柱穴状遺構	古代末～中世前	瓦器椀(小片)、瓦器甕？、土器小片	
0281	柱穴 (SH03)	不明	瓦質鉢？、土錘片、土師坏(糸　小片)	
0282	柱穴 (SH03)	古代末～中世初頭	白磁片(1点)、土師坏・皿(糸　小片)	
0283	柱穴状遺構	不明	土器片(小片　4点)	
0284	柱穴状遺構	不明	土師皿(小片1点)、	
0285	柱穴状遺構	不明	瓦器椀(小片　1点)、土師坏・皿(小片)	
0286	柱穴	14世紀後半以降	青磁碗(小片　14C後)、白磁碗片(1点)、白磁皿(IX類)、須恵器片、瓦器椀片、土錘(小片)、土師坏(糸)、土器小片	根石有り
0287	柱穴	不明	白磁(小片　1点)、瓦器椀？、土師皿(糸　小片)	根石有り
0288	柱穴状遺構	不明	須恵器片(1点)、土師坏・皿(小片)	
0289	不明	古代末？	白磁碗片(小片1点)、陶器壺片、土師坏(ヘラ？　小片)	一段下げで消滅
0290	柱穴状遺構	不明	土器小片(3点)	
0291	柱穴状遺構	不明	土師坏(小片1点)	
0292	柱穴	11世紀後半？	白磁碗底部、土師椀？、土器小片(1点)	根石有り
0293	柱穴状遺構	不明	土師坏・皿片、	
0294	柱穴状遺構	不明	土器小片	
0295	柱穴状遺構	不明	白磁片、瓦器椀？、土師坏(糸)、土師皿(糸)、土器小片	
0296	柱穴 (SH03)		瓦器碗片、土錘？、土師坏・皿片	いずれも小片
0297	柱穴状遺構	不明	土器片(1点)	
0298	柱穴状遺構	不明	土錘(小片1点)、土器小片	
0299	不明	近現代？	平瓦(近現代？)、陶器片、土師坏・皿(糸　小片)、高台付き土師皿、土器片	不整形　一段下げで消滅
0300	柱穴状遺構	不明	土師坏(糸　小片3点)	
0301	柱穴状遺構	不明	土器小片(2点)	
0302～0305	一段下げ	不明	土器小片のみ	
0302	柱穴状遺構	不明	土師坏・皿片(糸)	
0303	柱穴状遺構	不明	土師坏小片	
0304	柱穴状遺構	不明	土器小片	
0305	柱穴状遺構	不明	土師坏(口縁部小片1点)	
0306	土坑	15世紀	龍泉窯系青磁碗(口縁に雷文　青磁運弁文碗D群　15C)、白磁皿、土師坏(糸　小片)、土師皿(糸)	
0307	柱穴状遺構	不明	土師皿(糸　小片)、	
0308	柱穴状遺構	13世紀	須恵質鉢(口縁小片1点)	
0309	柱穴状遺構	不明	鉄釘(1本)	
0310	柱穴状遺構	中世	土師坏・皿(糸　小片)	
0311	柱穴状遺構	不明	須恵器(坏蓋？)、土師坏片	
0312	柱穴状遺構	不明	土器片(小片1点)	
0313	柱穴状遺構	不明	土師坏片(底部小片1点　糸)	
0314	柱穴 (SH03)	不明	陶器盤(底部小片)、須恵器片(瓶？)、土器片(3点)	根石有り
0315	柱穴状遺構	12世紀前後	土師皿(糸　小片)、高台付き土師皿(糸)	
0316	柱穴状遺構	中世	瓦質土器片、土師坏・皿(小片　糸)	
0317	柱穴状遺構	不明	土器片(小片　2点)	
0318	柱穴状遺構	不明	瓦器椀(小片1点)、土器小片(1点)	
0319	攪乱	現代	プラスチック、同安窯系青磁碗(小片)、須恵器大甕、瓦器椀？、土師坏(糸)、土師皿(糸)、高台付き土師皿、土師皿(ヘラ切り・糸切り　小片のみ)、	
0320	柱穴 (SH03)	中世	白磁碗片、陶器片(壺？)、瓦器椀(12後)、土師坏・皿(糸　小片)	
0321	柱穴状遺構	不明	土器小片(4点)	
0322	柱穴状遺構	中世	白磁碗片、陶器片(甕？小片)、瓦器椀(小片)、土師坏・皿(糸　小片)	
0323	トレンチ	現代	モルタル片、青磁碗底部、陶器鉢Ⅰ－1ｂ、陶器片、瓦質片口鉢、土錘、土師質鉢鉢、土師坏(糸)、土師皿(糸)、	
0324	柱穴状遺構	中世	陶器片(鉢？)、瓦器椀、土師坏(糸　小片)	
0325	柱穴状遺構	不明	土錘？（外面に煤）、鉢？（内面にコゲ）、土器小片	
0326	柱穴状遺構	不明	土器小片(1点)	
0327	柱穴状遺構	不明	土器小片(4点)	
0328	柱穴状遺構	古代末	土師坏(ヘラ切り　底部片1点)	

表9　遺構台帳9

遺構番号	性格	時代	遺物	備考
0329	柱穴（SB03）	不明	土器小片	
0330	柱穴状遺構			
0331	柱穴状遺構	不明	土師質鉢片、土器小片	
0332	柱穴状遺構	不明	土師坏・皿（糸　小片）	
0333	柱穴状遺構	不明	須恵器片、瓦質片、土器小片	
0334	柱穴状遺構	中世	龍泉窯系青磁碗（小片）、陶器大甕、陶器片、瓦質片、高台付き土師皿、土器小片（糸）	
0335	柱穴状遺構	中世？	瓦器椀片、土器小片	
0336	柱穴状遺構	不明	土器小片	
0337	柱穴（SB03）	１２世紀前後	須恵器甕口縁、瓦器椀、土師坏(ヘラ・糸)、土師皿(糸)、滑石製石鍋(補修孔あり)	
0338	柱穴（SB03）	不明	瓦器片、土鍋小片、土器小片	
0339	柱穴状遺構	不明	青磁碗小片	
0340	柱穴状遺構	不明	土鍋小片、土師坏(糸　小片)	
0341	柱穴状遺構	不明	土師皿(糸　小片１点)	
0342	柱穴状遺構	不明	土器小片（１点）	
0343	柱穴	不明	瓦器椀小片、土師坏(糸　小片)、	根石有り SD0245を切る
0344	柱穴状遺構	不明	陶器片(小片１点)、土師器(糸　小片１点)	
0345	柱穴状遺構	不明	土器片（１点）	
0346	柱穴状遺構	不明	土師坏(糸　小片)、	
0347	柱穴状遺構	不明	土器小片（１点）	
0348	柱穴状遺構	不明	土師皿(小片１点)、土器小片（１点）	
0349	柱穴（SB03）	不明	白磁椀Ⅳ類(体小片１点)、白磁片、瓦器椀片、土師坏・皿(糸)、土器小片	
0350	柱穴（SB03）	不明	土師質耳壺？（取手部小片のみ）、土師坏・皿(糸　小片)	
0351	柱穴状遺構	不明	陶器片、瓦器椀片、土器小片	
0352	柱穴状遺構	不明	土器小片（１点）	
0353	柱穴状遺構	不明	瓦器椀小片、高台付き土師皿、土師坏・皿(糸)	
0354	攪乱	現代	磁器・陶器片	
0355	攪乱	現代	磁器碗(現代)、瓦(瓦質　現代)、土師坏・皿(糸)	
0356	攪乱	現代	タイル、モルタル、土管、瓦質軒平瓦(現代)、須恵質鉢胴、土師質鉢、土師坏(糸)、土鍋、甑取手、	
0357	柱穴状遺構	不明	土器小片	
0358		不明	土師質鉢(小片)、土器片	
0359	柱穴状遺構	12世紀	白磁皿片、陶器片、土師質鉢？、瓦器椀片、土師坏(ヘラ・糸)	
0360	柱穴状遺構	中世	瓦器椀、土師坏・皿(糸　小片)	
0361	柱穴状遺構	不明	土鍋(小片　1点)、土器片(小片2点)	
0362	柱穴状遺構	不明	土師坏・皿(糸・小片)	
0363	土坑	12世紀前後	青磁片,白磁片,須恵器甕(小片),須恵質片,瓦器椀片,土師質鉢胴(12C？),土師坏(糸),土師皿(糸)、高台付き土師皿、硯石(直方体　砂岩)	
0364	柱穴状遺構	不明	土師坏・皿(糸　小片)	
0365	柱穴状遺構	不明	陶器片(壺？)、陶器鉢、土師坏片(糸　小片)	
0365周辺	一段下げ	不明	土師皿(糸　小片)	
0366	柱穴状遺構	不明	土器片(2点)	
367・368	一段下げ		白磁片、土師坏・皿(糸　小片)、	
0367	井戸枠内？	不明	土器小片(土師坏・皿の小片が主)	
0368	井戸掘方？	14世紀以降	白磁椀Ⅴ類、白磁皿Ⅸ類、陶器擂鉢、陶器壺、陶器片(鉢か)、瓦質火鉢、瓦器椀、瓦質鉢、土師質鉢、土師坏(糸　小片多)、土師皿(糸　小片多　1点のみ口径計測可　8.0cm)、瓦質瓦(平　縄目→ナデ・布目圧痕)、	
0368	井戸枠内	14世紀以降	龍泉窯系青磁碗片、須恵器甕、土器片(土鍋等か)、土師坏片	
0369	SD391のトレンチ	12世紀後半～13世紀前半	土師坏(糸　小片　胎土精良)、土師皿(糸　小片)	
0369上層	SD391のトレンチ	13世紀前半	白磁椀Ⅴ類、陶器鉢Ⅰ-1b(13C前)、須恵器小椀、瓦器椀(12C、13C)、土鍋片、土師坏(糸　胎土精良なもの有り)、土師皿(糸　小片)	
0369下層	SD391のトレンチ		白磁碗片、瓦器椀(小片)、土師坏(糸　小片　一点は灯明皿か)、土師皿(糸)、高台付き土師皿	
0370	トレンチ	現代	モルタル、染付小碗(近代)、七輪、陶器片(壺？)、須恵質鉢、土師坏(糸　小片)、土師皿(糸　小片)、須恵質瓦(平　縄目→ナデ・布目)、	
0371	柱穴状遺構	不明	龍泉窯系青磁碗小片、土師坏片	SE0402を切る
0372	攪乱	現代	陶器片(甕？)、土器小片	
0373	柱穴状遺構	中世	土鍋(小片)、土師坏・皿(糸　小片)、高台付き土師皿(小片)	

表 10　遺構台帳 10

遺構番号	性格	時代	遺物	備考
0374	柱穴状遺構	古代末～中世	白磁碗小片、土師坏(糸)、土師皿片	
0375	柱穴状遺構	不明	土器小片	
0376上層	井戸	中世	白磁片、須恵質擂鉢、土鍋、瓦器椀、土師坏・皿(糸　小片)	
0376	井戸	14世紀以降	龍泉窯系青磁碗片、同安窯系青磁碗片、白磁碗Ⅳ・Ⅴ・Ⅷ類、白磁皿Ⅴ・Ⅸ類、白磁水注小片、陶器壺(胴部小片)、須恵質甕、須恵質碗？、瓦器椀(12C ？)、土師質鉢(13C末～14前)、土師坏(糸多　ヘラ少)、土師皿(糸多　ヘラ少)、高台付き土師坏、	
0376・0432	一段下げ		白磁碗小片、陶器片、須恵器片(坏蓋or壺口縁)、黒色土器A類椀小片、瓦質擂鉢、瓦質椀、土師坏(糸　小片)、土師皿(糸　小片)	
0377	溝	14～近世後半	陶器類(近世以降？)、白磁皿Ⅸ類、七輪、陶器盤(底部小片)、陶器大甕、須恵質鉢、瓦質擂鉢、土鍋(15C)、土師質燭台、土師質鉢、土師坏(糸　破片多　1点は灯明皿)、土師皿(糸)、瓦質瓦(丸・平)、椀型滓、	
0377上層	溝	15世紀以降	龍泉窯系青磁碗Ⅱ類、白磁片、備前陶器鉢(15C)、陶器鉢Ⅰ類、陶器小片、瓦質羽釜？、土鍋、土師質鉢、土師坏(糸　小片多)、土師皿(糸　小片)、瓦質瓦(平)、砥石、	
0377下層	溝	15世紀頃？	龍泉窯系青磁碗Ⅱ・Ⅲ類、白磁碗片、陶器甕、瓦器椀、瓦質瓦(平・丸)、火鉢？、土鍋(15C)、土師坏(糸)、土師皿(糸)	
0377・0391上面清掃	攪乱混じる	現代	モルタル、磁器小碗(近現代)、染付(近現代、土鍋片、土師坏(糸　小片多)、土師皿(糸　小片多)	
0378	溝	14～15世紀？	陶器壺(緑色釉　胎土赤くて脆い)、陶器碗(釉鶯色、胎土暗橙色)、青磁碗片、白磁碗片、土鍋、土師質鉢、土師坏(糸　小片)、砥石	
0379	井戸	13～14世紀	龍泉窯系青磁碗Ⅰ類、白磁碗Ⅳ類、白磁皿Ⅸ類、陶器鉢Ⅰ-Ⅰb(13C)、陶器壺、陶器小片(甕・壺胴部)、瓦器椀(12C ？)、土師椀、土師坏(破片多　糸　高台付き有り)、土師皿(糸　高台付き有り)、土師質高台付き盤、土鍋(破片多　口縁から底部　同一個体か　14C)、土師質擂鉢、滑石片、須恵質平瓦(小片1点ナデ・布)、須恵質丸瓦(小片1点　ナデ・布目)、瓦質平瓦(小片1点)、土師質平瓦、	
0380	柱穴状遺構	不明	土師坏(糸　小片)、土師皿(糸　小片)	
0381～0383周辺	一段下げ	中世	白磁碗Ⅻ類、陶器鉢、瓦器椀片、土師坏(糸)、土師皿(糸)	
0381	柱穴状遺構	不明	土器小片	
0382	柱穴状遺構	不明	瓦器椀(小片1点)、土師坏・皿(小片)	
0383	柱穴状遺構	12世紀中～後	龍泉窯系青磁碗Ⅰ類、土師皿片(糸　小片)	
0384	攪乱	現代	青磁片、瓦器椀片、土師坏・皿(小片)	
0385	攪乱	不明	瓦質土器片、土器小片	
0386	柱穴状遺構	中世	滑石製石鍋片、土師坏・皿片	
0387	柱穴状遺構	不明	土器小片	
0388	攪乱	現代	土器小片(2点)	
0389	攪乱	現代	モルタル片、陶器(鉢、甕　近現代)、龍泉窯系青磁碗、土師坏片	
0390	土坑	13世紀以降	白磁碗Ⅳ・Ⅻ類、須恵質小片(甕？)、瓦器椀小片、土師坏(糸)、高台付き土師皿、土師皿(糸　底面器壁の厚いもの5mm以上と4mm以下の薄いものがあり、薄い個体は胎土精良)、	SD0391を切る
0391・0377一段下げ			磁器碗(現代)、茶褐釉陶器片、土師坏・皿(糸　小片)	
0391上面攪乱	攪乱	現代	同安窯系青磁？碗(12C後半)、白磁碗(12世紀後半)、須恵器片、土師坏(糸切り)、土師皿(糸)、土鍋、瓶？、	
0391　一段下げ	溝		青磁碗片、白磁碗Ⅱ・Ⅳ類、瓦器椀(小片　4点)、土師椀、高台付き土師坏、土師坏(糸切り　若干ヘラ切り混じる)、土師皿(糸　小片)、	
0391	溝		龍泉窯系青磁碗片、白磁椀(12C ？)、白磁皿、陶器壺(12～13C ？)、瓦器椀(13C ？)、土師坏(糸切り　和すかにヘラ切りが混じる)、高台付き土師坏、土師皿(糸　高台付きが多い)、	
0391上層	溝	12後半～13世紀前半	陶器(小碗、皿　近現代　上部攪乱からの混入)、龍泉窯系青磁碗Ⅰ類、同安窯系青磁碗、白磁碗Ⅳ類、白磁皿Ⅵ類、白磁壺(小片)、黒釉陶器片、陶器盤(小片)、陶器鉢Ⅵ類(12C中)、須恵器大甕(胴部小片(13C)、瓦器椀(小片3点)、土鍋、土師坏(糸)、高台付き土師坏(糸切り　小片)、土師皿(糸　小片)、高台付き土師皿(小片)、弥生甕？ (小片　摩滅激しい)、土錘(2点)、瓦質平瓦、	
0391下層	溝		同安窯系青磁碗(小片　数個体)、龍泉窯系青磁碗Ⅰ類(小片)、青磁皿(小片)、白磁碗Ⅳ・Ⅴ・Ⅷ類(Ⅷ類底部に墨書)、白磁皿(Ⅲ類？、不明小片)、白磁壺Ⅲ類(口縁が玉縁)、陶器大型甕、黒釉(天目)片(小片)、茶褐釉建盞型碗、陶器碗底部、陶器壺(12C後～13前)、陶器盤Ⅱ類？ (13世紀)、陶器鉢Ⅰ-Ⅰb(13C前)、陶器鉢(国産？)、緑褐色釉陶器碗(不明)、須恵器大甕、須恵質鉢(東播系　12C ？)、瓦器椀、瓦器皿、土師椀、土師坏(糸切り　破片多量 ヘラ切りをわずかに含む)、土師台付き坏(糸切り)、土師質台付き皿(2点実測、その他小片5点)、土師皿(小片多　若干ヘラ切りを含む)、土錘、鉄滓、滑石石鍋片(5点　1点は厚さ3cm、 3点は再加工中)、高坏(古墳時代)、土器片、平瓦(土師質1点、瓦質2点で1点は縄目、1点はナデ　　須恵質3点　薄めで縄目圧痕)、鉄片、黒曜石片、	
392上層	0391と混じる	12世紀後半以降	同安窯系青磁碗、白磁皿、陶器甕、瓦器椀、高台付き土師坏、高台付き土師皿、土師坏(糸・ヘラ　口径15.8cm、その他小片多)、土師皿(糸　胎土精良なものあり　小片)	
0392	柱穴状遺構	12世紀後半以降	同安窯系青磁碗(小片)、土師坏・皿(糸　小片)	

表 11　遺構台帳 11

遺構番号	性格	時代	遺物	備考
0093	柱穴状遺構	不明	白磁椀底類、土師坏・皿(小片)、	
0094	柱穴	不明	土師坏(糸　底部片1点)	根石有り
0095	柱穴	不明	土師坏(糸　小片)、	根石有り
0096	溝	12世紀後半以降	白磁椀(小片)、陶器甕、瓦器椀、須恵質鉢(東播系　底部のみ)、土師坏(糸)、土師皿(糸)、高台付き土師皿、土師質瓦(古代末)	道路側溝？
0097	溝	12世紀中頃	同安窯系青磁椀(小片)、白磁椀片、陶器片(甕？)、須恵器壺(底部　内面は巻き上げのまま、歪みえぐい)、須恵器大甕、土師坏(糸・一部ヘラ切り　小片多)、土師皿(糸・一部ヘラ　小片多)、高台付き坏、土鍋、土錘、	
0098	柱穴状遺構		土器小片(2点)	
0099	柱穴状遺構	12世紀後半以降	白磁椀片、土師坏(糸　小片)、	
0600	柱穴状遺構	12～13世紀？	白磁片(椀？)、瓦器椀片、土師坏・皿(糸　小片)	
0601	溝	12世紀後～13世紀？	白磁椀V類、瓦質片、土師椀片、土師坏(糸　小片)、土師皿(糸　小片)	根石有り　機・解か
0602	井戸	13世紀後半～14世紀	龍泉窯系青磁椀I・II類、同安窯系青磁椀、白磁椀Ⅳ・Ⅴ類、白磁皿Ⅸ類、白磁輪花皿、白磁合子蓋小片、陶器擂鉢、陶器甕、陶器大甕片、陶器小壺Ⅰ-2b類・Ⅲ類、陶器鉢Ⅰ-1b、須恵器大甕、滑石製石鍋片(13C前後　一部再加工痕有り)、瓦器椀(小片多)、瓦質擂鉢(12C)、板取手、土鍋、須恵質鉢(東播系　13C)、須恵器坏蓋(6C、7～8C)、土師坏(糸)、土師皿(糸　破片多)、須恵質甲瓦、土錘、鉄片、	パンケース5箱
0603	柱穴状遺構	14世紀？	陶器鉢(14世紀？)、土器片	
0604	土坑	近世～近代	碗器(染付小碗、椀、皿)、陶器(椀、鉢)、白磁椀Ⅳ類、火鉢？、土師坏(糸)、土師皿(糸　灯明皿が2点以上)、土鍋、瓦質塼、	
0605	柱穴	不明	土器小片	根石有り
0606	柱穴状遺構	不明	土師坏・皿(糸・小片)	
0607	土坑	13～14世紀	龍泉窯系青磁椀I・II類、青白磁皿IX類(13～14世紀)、白磁椀Ⅳ類、白磁壺？　(胴部片)、陶器甕(小片)、陶器鉢、陶器盤片、須恵器甕、土師坏(糸　破片多)、土師皿(糸　破片多)、高台付き土師皿、土師質鉢、鉄片	
0608・0609	一段下げ	攪乱till	ビー玉(現代)、陶器壺(現代)、同安窯系青磁椀、白磁皿IX類、白磁椀(小片)、瓦器椀、土師椀、土鍋、土師坏(糸)、土師皿(糸)、高台付き土師坏	
0608上層	井戸	14世紀？	白磁皿IX類、陶器片、須恵器片(鉢？)、瓦器椀？、土師質鉢(13C後～14C)、土師坏(糸　小片多)、土師皿(糸)、	
0608	井戸	14世紀	龍泉窯系青磁椀I類、同安窯系青磁椀、白磁椀Ⅳ・Ⅴ類、白磁皿IX類、陶器鉢I-1b、陶器壺、須恵器鉢(12C)、瓦質鉢、土師坏(糸)、土師皿(糸　破片多)、高台付き土師皿、瓦質羽釜(斜格子)、須恵器瓦(縄目圧痕)、砂滑石製石鍋片(再加工痕有り)、鉄片	小片のみ
0609	井戸	14世紀以降	青磁椀片、白磁皿IX類、陶器片(甕？)、陶器壺、須恵器大甕、瓦器椀片、土師椀？、土師坏(糸　小片)、土師皿(糸　小片)、鉄片、	小片のみ
0609一段下げ	井戸	不明	土師坏・皿(糸　小片)	
0610	柱穴状遺構	不明	土師坏・皿(小片)、土器片、砥石、土錘(1点)	
0611	柱穴状遺構	不明	土器小片	
610・611	一段下げ	不明	土師皿(糸　小片)	
0612	柱穴状遺構	中世	土師坏・皿(糸　小片)	
0613	柱穴状遺構	中世	土師坏・皿(糸　小片)	
0614	柱穴状遺構	中世	青磁椀片、須恵器片(鉢？)、土師皿(糸　小片)、土器片	SE0608を切る
0615	柱穴(SB01)	不明	白磁片、須恵器坏？、土師椀？、土師皿(糸　小片)	根石有り
0616	柱穴			根石有り
0617	柱穴状遺構	不明	土師皿(糸　小片)、土器片、	
0618	柱穴状遺構	中世	龍泉窯系青磁椀II類、白磁片、土師坏(糸　小片)、土師皿(糸　小片)、高台付き土師坏、土器片、滑石製石鍋片	
0619	柱穴状遺構	13～14世紀	龍泉窯系青磁椀II類、土師皿(糸　小片)	
0620	柱穴状遺構	不明	陶器片、土師坏(糸　小片1点)、土器片	
0621	柱穴状遺構	土師皿の径について調べる	白磁片、瓦器片、土師皿(糸　径8.3cm　器高1.3cm、径8.5cm　器高1cm)	
0622	溝状遺構	不明	土師坏(糸　小片)	
0623	柱穴状遺構	14～15世紀？	白磁椀片(1点)、土鍋(小片　1点　14～15C)、土師坏(糸　小片)	
0624	柱穴状遺構	不明	土器片(1点)	
0625	柱穴状遺構	不明	土師坏・皿(糸　小片)	
0626	柱穴状遺構	現代	コンクリ片、土師質高台部、瓦質平瓦、土師質丸瓦(ナデ・布目)	
0627	柱穴状遺構	不明	瓦器椀(小片1点)、土器小片(3点)	
0628	攪乱	現代	白磁椀(小片　1点)、陶器小壺Ⅰ類(12C前)、土師坏・皿(糸　小片)	

1. Ⅰ区全景（北から）

2. Ⅱ区全景（西から）

図版 2

1． SE0075（西から）

2． SE0217（南から）

3． SE0222（北から）

4． SE0233・0449（南から）

5． SE0233 土層（南から）

6．SE0236 土層（南から）

7．SE0247（南から）

8．SE0247 土層（南から）

1．SE0248（西から）

2．SE0248 遺物出土状況（西から）

3．SE0368 井筒（南東から）

4．SE0368 井筒（南から）

5．SE0368（カメ甲羅出土状況）

6．SE0368 箍

7．SE0368 井筒箍

8．SE0379（南から）

図版 4

1．SE0402（北から）

2．SE0408・0409（南から）

3．SE0408 井筒（南から）

4．SE0408 半裁状況（南から）

5．SE0409（西から）

6．SE0451

7．SK0081（西から）

8．SK0180（東から）

1．SK0244（南から）

2．SK0244 土層（南から）

3．SK0254（西から）

4．SK0264（南東から）

5．SK0404（南東から）

6．SK0407（南西から）

7．SK0407 土層（南から）

8．SK0429（北西から）

図版 6

1．SP0028（北西から）

2．SP0076（北から）

3．SP0097 根石（東から）

4．SP0098 根石（東から）

5．SP0108 根石（西から）

6．SK0134 遺物出土状況（北から）

7．SK0137（西から）

8．SK0224（北から）

1．SP0227（SA01）根石（南から）

2．SK0229（西から）

3．SK0306（南西から）

4．SP0103 根石

5．I区北西端根石出土状況（北から）

図版 8

1．SD0245（北から）

2．SD0245 土層 1（南から）

3．SD0396・0397・0401（北から）

4．SD0237・0276・0433・0434（北から）

5．SB01（北から）

6．SB02 南側柱列（西から）

7．SK0164 検出状況（北から）

1．SD0146 遺物出土状況（北西から）

2．SD0146 西端遺物出土状況（南西から）

3．SD0146 中央部遺物出土状況 1（南から）

4．SD0146 中央部木質出土状況（南から）

5．SD0110 土層（東から）

図版 10

1．SD0146・0218・0219 土層（西から）

2．SD0203 土層（南から）

3．SD0378（東から）

4．SD0391・0378（西から）

5．SD0391 木質出土状況（北から）

報告書抄録

ふりがな	すみよしじんじゃいせき　3
書名	住吉神社遺跡　3
副書名	住吉神社遺跡第4次調査報告
シリーズ名	福岡市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第1363集
編著者名	屋山洋
編集機関	福岡市教育委員会
所在地	福岡市中央区天神1丁目8－1
発行年月日	2019年3月25日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
すみよしじんじゃいせき 住吉神社遺跡	博多区住吉2丁目302番3、310番2	40132	2820	33° 35′ 12.9″	130° 24′ 41″	20151221 ～ 20160312	333㎡	共同住宅建設

種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
集落	古代末～近世	井戸・溝・土坑・掘立柱建物	中世貿易陶磁・須恵器・土師坏・土錘・動物遺存体	

要約

住吉神社遺跡は福岡平野の中央部を流れ博多湾に注ぐ那珂川右岸の、河口付近に位置する筑前一宮の住吉神社を中心とする遺跡である。北側の博多遺跡群とは旧御笠川の氾濫域で区切られるが、周辺は古くから市街地化が進んだため旧地形が判りにくく、現在は氾濫域との境界は不明瞭である。4次調査地点は住吉神社本殿から200m北西に位置する。遺構面は粗砂を多く含む黄灰色シルトで厚さは20～50cm前後を測り、その下は粗砂層、砂礫層と続く河川による水成堆積である。遺構面の標高は1.3m前後で1次調査の住吉神社から1.2m程低い。調査区内では12世紀から14世紀を中心とする溝と井戸、掘立柱建物、土坑などが出土した。溝は12世紀から近世までの掘り込みを確認したが、近世になると浅くなり、この時期から盛り土による地上げが行われた可能性がある。もっとも古い12世紀の溝からは白磁碗と土師坏・皿、箸、曲げ物などが出土した。溝の両側で区画溝や掘立柱建物などが出土した。井戸は調査区の北端部と南東部の2ヶ所で集中して出土し、形態は素掘り、桶組、石組みと多様である。溝からは下駄などの木製品なども出土した。

福岡市埋蔵文化財調査報告書第1363集

住吉神社遺跡3

―住吉神社遺跡第4次調査報告―

平成31（2019）年3月25日

発行　福岡市教育委員会
福岡市中央区天神1丁目8－1

印刷　有限会社ブリコム
福岡市博多区冷泉町1－20
092－282－5321